



アイ
ワ
フ
ィ
ン
ィ
ン
ス

2023年3月期 第1四半期
決算プレゼンテーション資料

2022年8月

目次

01	IT金融グループに向けた取り組み・方針	03 - 09
02	決算概況	10 - 16
03	アイフル決算概況	17 - 32
04	ライフカード決算概況	33 - 40
05	グループ各社の決算概況	41 - 44
06	参考資料	45 - 53

01

IT金融グループに向けた 取り組み・方針

IT金融グループを目指して

外注に依存せずアプリやHPを内製することで
コスト削減し収益性を上げられる組織

IT教育を中心とした人材育成に力を入れ
社員とともに成長できる組織

IT金融グループに必要な3つのスキル



デザイン



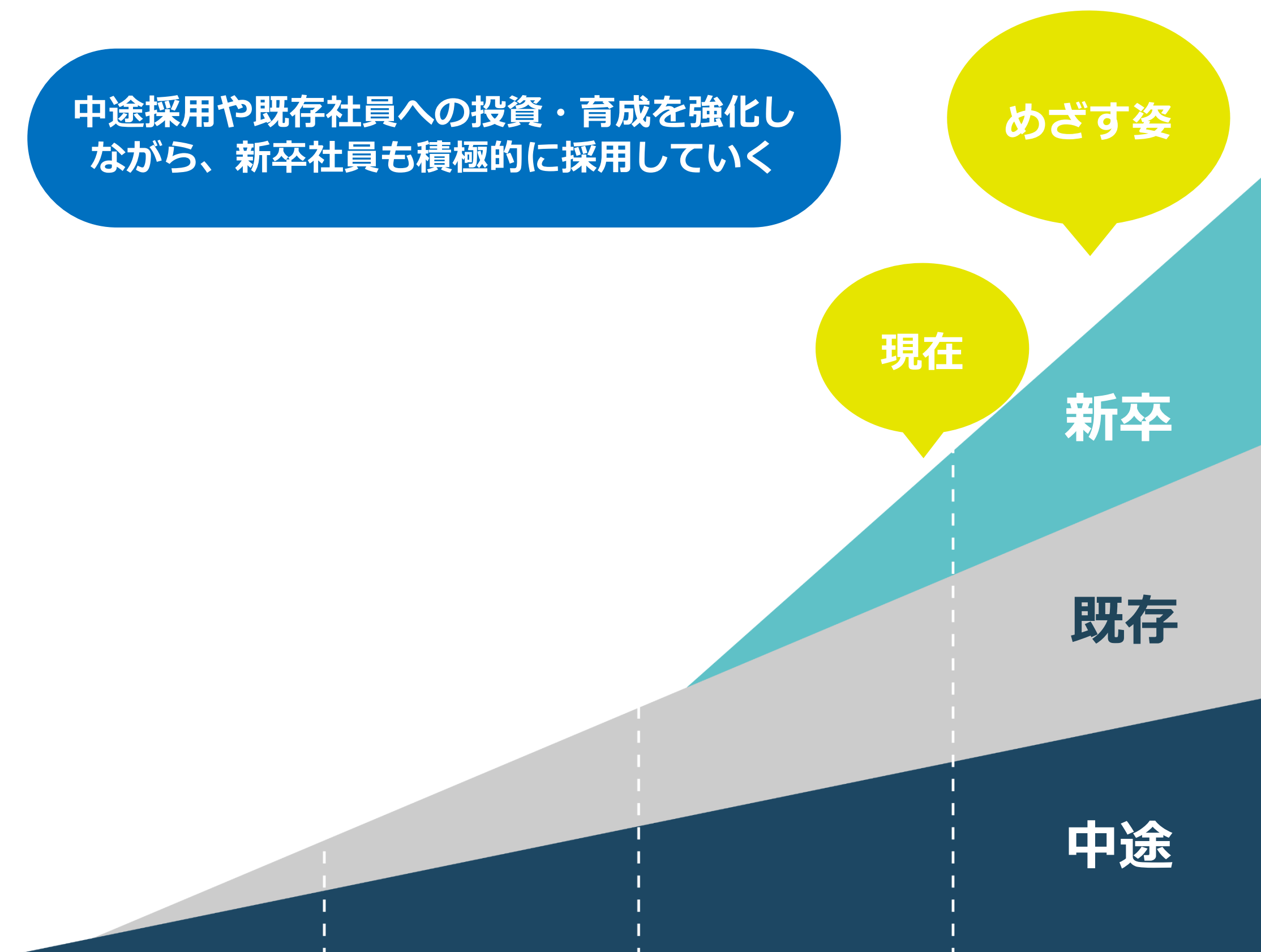
デジタル推進



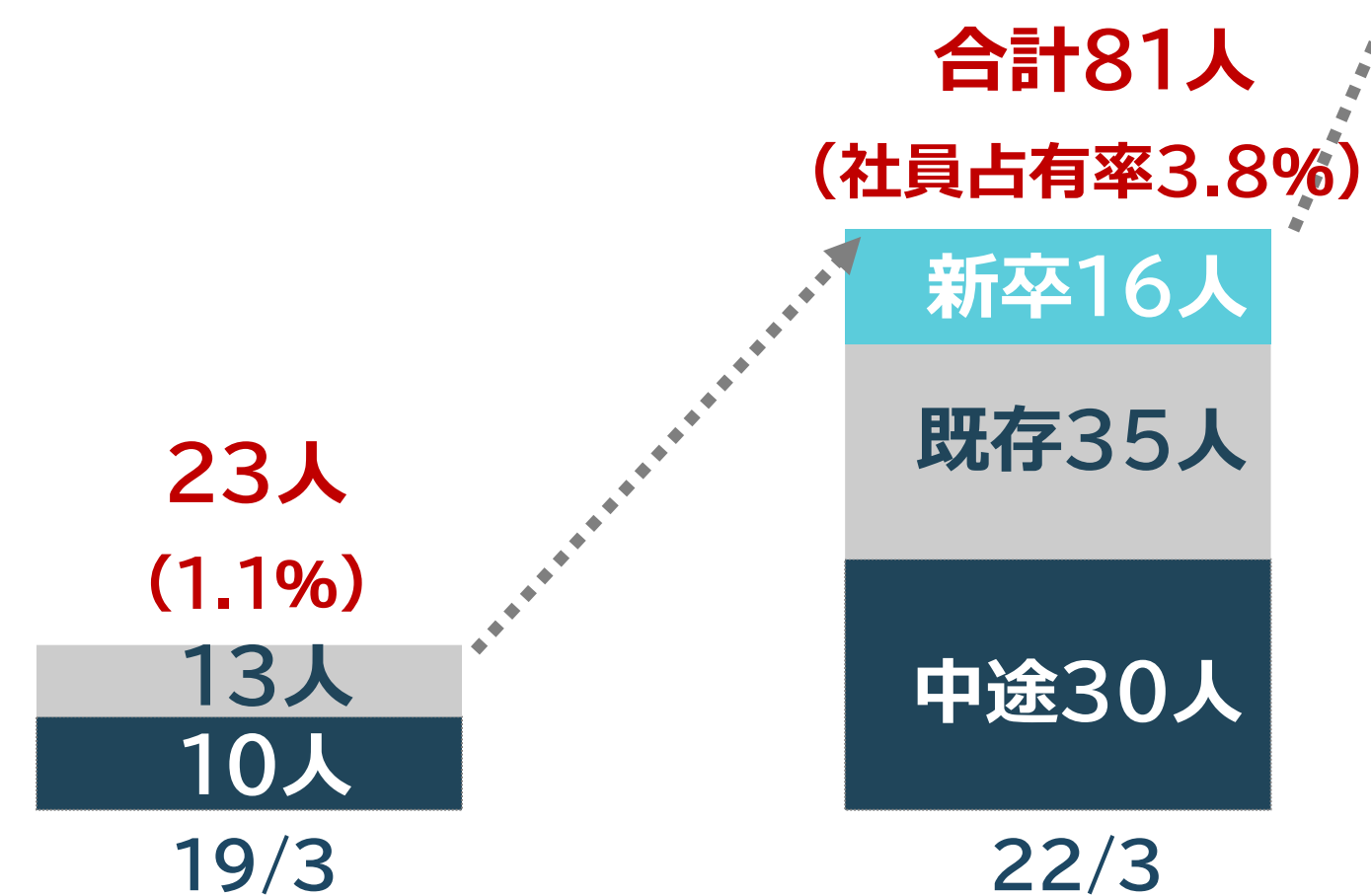
データ分析

IT金融グループを目指して

中途採用や既存社員への投資・育成を強化しながら、新卒社員も積極的に採用していく



IT人材は、全社員の25%程度まで増員をめざす



めざす姿

社員占有率
25%

内製化による実績・効果(アイフル)

アプリの改修回数

2020年4月
~2021年3月

計 **20** 回

2021年4月
~2022年3月

計 **49** 回

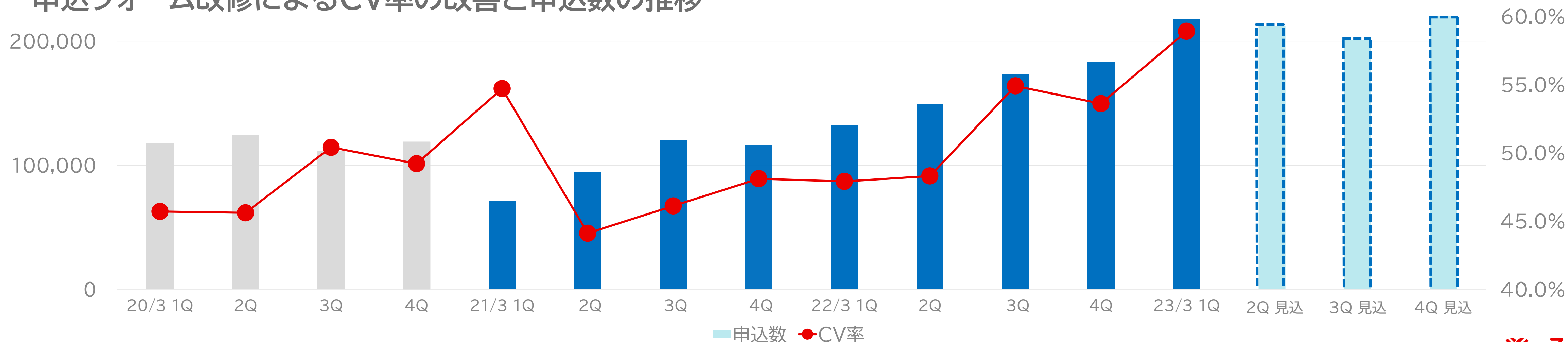
アプリの評価

	2020年4月	2022年3月
iOS	★★★☆☆ 2.7	★★★★★ 4.6
Android	★★★☆☆ 3.7	★★★★★ 4.5

スピーディーでキメ細やかなアプリの改修

アプリのストア表示評価の改善

申込フォーム改修によるCV率の改善と申込数の推移



アイフルグループにおける安全性・収益性・成長性の指標

		指標	期末予想値	参考 23/3 1Q
安全性	自己資本比率	20%	16.3%	(16.7%)
収益性	ROE	10%超	13.0%	(15.2%)
	ROA	2%超	2.4%	(2.9%)
成長性	営業アセット	年間 10%成長	前年同期比 +9.7%	(9,100億円)

2022年3月期1Q トピックス

AG住まいるリースバック事業開始



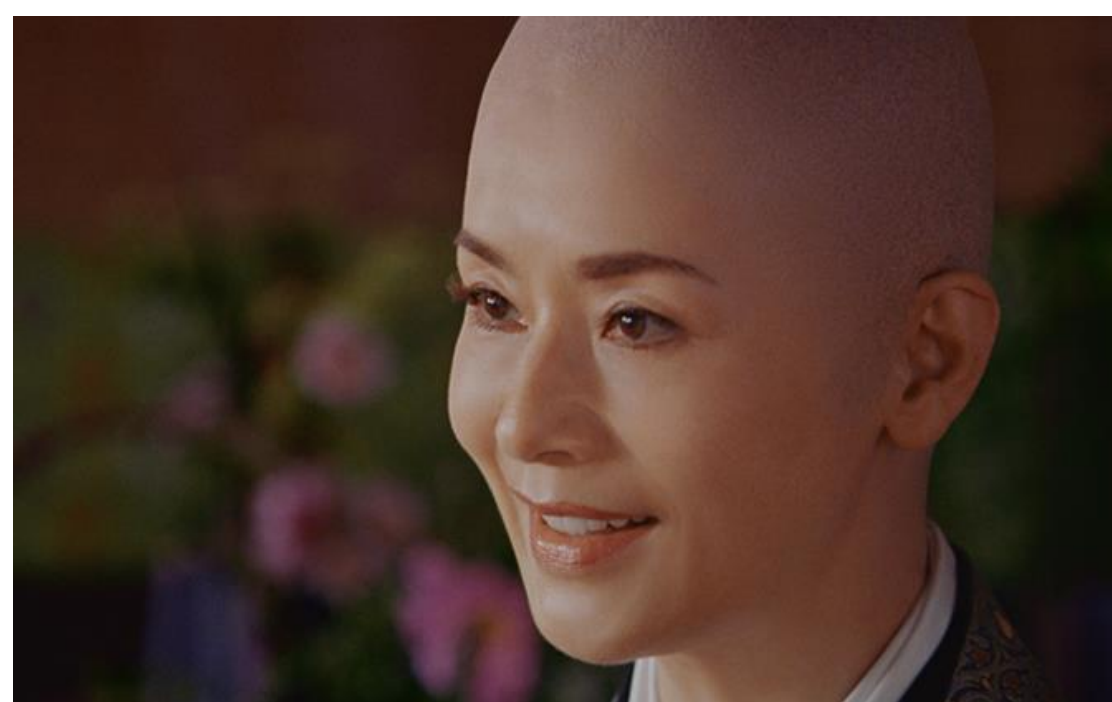
- 2022年4月1日に事業を開始
- 当社グループで培った与信・不動産業務のノウハウを活かし、不動産リースバック事業に取り組む

中期経営2カ年計画の策定



- 2024年3月期を最終年度とする中期経営2カ年計画を策定

2年連続CM好感度No.1



- 業類別CM好感度NO.1を2年連続で獲得

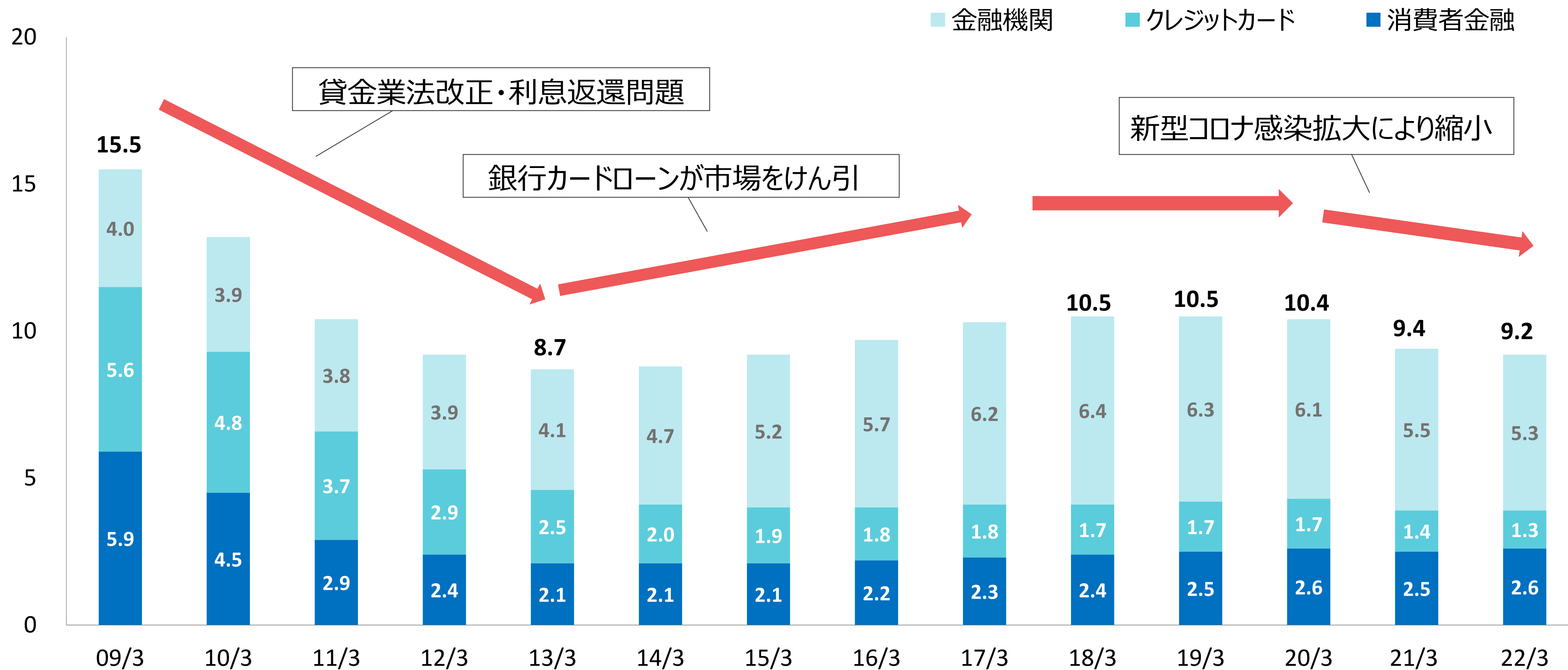
譲渡制限付株式報酬制度の導入



- 当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的とし、本制度を導入

無担保ローン市場

単位：兆円



※消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計 金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）

02 決算概況

業績ハイライト(連結)

23/3 1Q

前年同期比

営業アセット

9,100億円

+9.7%

ローン

5,942億円

+6.8%

クレジット

1,213億円

+13.0%

保証

1,776億円

+17.1%

業績ハイライト(連結)

23/3 1Q

前年同期比

営業収益

346億円

+7.3%

営業利益

66億円

+15.8%

経常利益

67億円

+17.5%

ROA

2.9%

+0.2pt

業績ハイライト(無担保ローン・信用保証)

23/3 1Q

前年同期比

計画進捗率

新規獲得
(単体・無担保ローン)

64,340件

+32.5%

+26.8%

CPA
(単体・無担保ローン)

50千円

+0.7%

信用保証残高
(連結)

1,776億円

+17.1%

無担保ローン

- 効果的なWeb広告により、申込数・新規獲得件数ともに堅調に推移
- 獲得単価を示すCPAにおいても、50千円と想定範囲内に着地
- 非対面でのスピーディーな審査や申込フォームの改善により、高いコンバージョン率を維持

信用保証

- 金融機関のニーズに合わせた商品の提供
- 提携先への積極的なアプローチとサポート体制
- おまとめローンを中心に証書貸付残高が前年同期比で143億円増加

主要数値・通期計画(連結)

- 営業アセット：主力の無担保ローンおよび信用保証事業の残高成長、クレジットカード事業の回復により前年同期比9.7%増
- 信用保証事業：おまとめローンを中心とした証書貸付（前年同期比143億円増）が牽引し、前年同期比17.1%増の1,776億円

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	23/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率	
営業アセット	829,837	910,052	80,214	9.7%	995,300	107,892	12.2%	
ローン事業	556,637	594,238	37,600	6.8%	635,900	53,550	9.2%	
無担保ローン	485,280	514,750	29,469	6.1%	548,300	43,044	8.5%	
有担保ローン	17,520	19,030	1,510	8.6%	22,400	4,117	22.5%	
事業者ローン	53,835	60,456	6,620	12.3%	65,200	6,389	10.9%	
クレジット事業	107,422	121,357	13,935	13.0%	143,300	26,519	22.7%	
支払承諾見返	152,917	178,487	25,570	16.7%	203,600	30,902	17.9%	
信用保証事業	151,719	177,675	25,956	17.1%	203,000	31,202	18.2%	
その他	1,197	812	-385	-32.2%	600	-300	-33.4%	1 Q進捗率
営業収益	32,329	34,692	2,362	7.3%	142,600	10,502	8.0%	24.3%
営業費用	26,621	28,082	1,461	5.5%	118,800	-2,055	-1.7%	23.6%
営業利益	5,708	6,609	900	15.8%	23,800	12,557	111.7%	27.8%
経常利益	5,714	6,714	1,000	17.5%	24,000	11,734	95.7%	28.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,012	5,945	933	18.6%	21,300	8,965	72.7%	27.9%

連結決算概要

- 営業収益：営業貸付金利息および信用保証収益の増加等により、前年同期比7.3%増の346億円
- 営業利益：営業費用は増加したが、それ以上に営業収益が増加したことにより、前年同期比15.8%増の66億円

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	32,329	34,692	2,362	7.3%
営業貸付金利息	18,588	20,027	1,438	7.7%
信用購入あっせん収益	4,701	5,359	658	14.0%
信用保証収益	3,865	4,052	186	4.8%
その他の営業収益	5,173	5,252	79	1.5%
営業費用	26,621	28,082	1,461	5.5%
金融費用	1,805	1,726	-78	-4.3%
利息返還関連費用	-	-	-	-
貸倒関連費用	8,747	8,218	-529	-6.0%
宣伝関連費用	3,292	4,557	1,265	38.4%
人件費	4,248	4,248	0	0.0%
その他の費用	8,527	9,331	803	9.4%

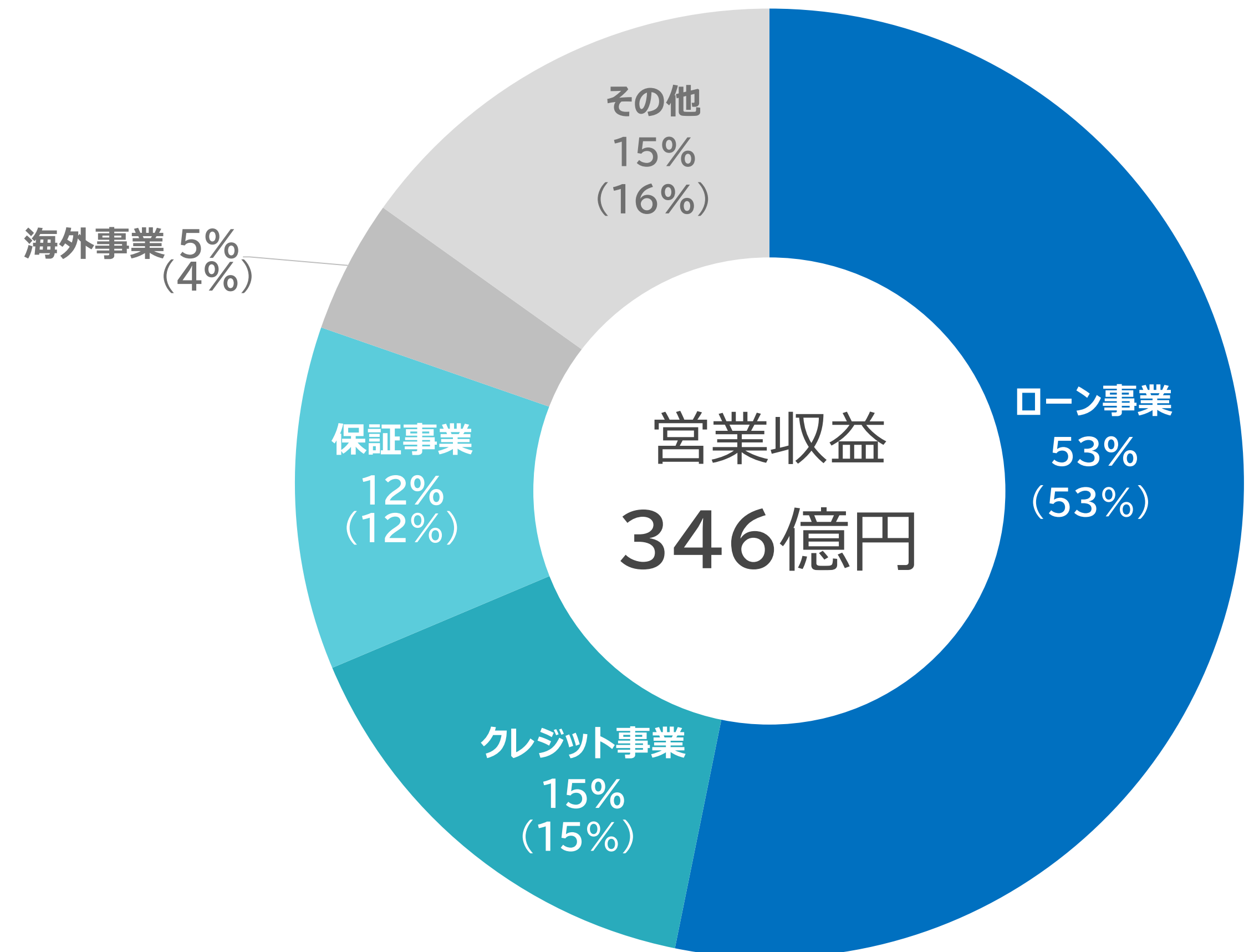
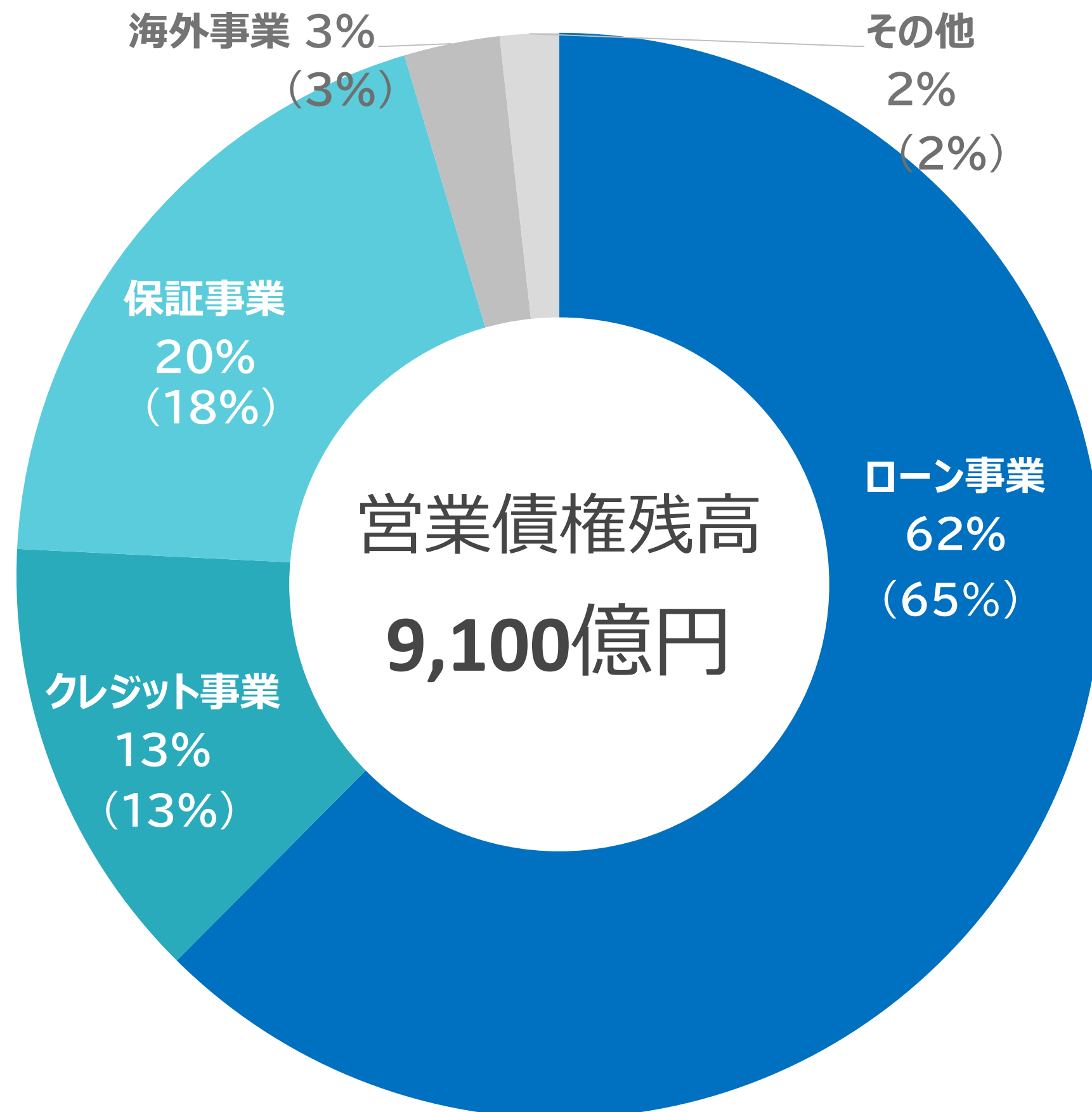
単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業利益	5,708	6,609	900	15.8%
営業外収益	180	111	-68	-37.9%
営業外費用	174	6	-168	-96.3%
経常利益	5,714	6,714	1,000	17.5%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
税引前利益	5,714	6,714	1,000	17.5%
法人税・住民税 および事業税	100	174	74	73.8%
法人税等調整	535	446	-89	-16.6%
非支配株主に帰 属する当期純利 益	65	148	82	124.9%
親会社株主に帰 属する当期純利 益	5,012	5,945	933	18.6%

事業ポートフォリオ

【事業ポートフォリオの考え方】

ローン事業に依らない安定的な収益確保を目的とし、保証事業等のフィービジネスやクレジット事業の強化など金融事業の多角化を目指す

- 営業債権残高：信用保証事業の残高2桁成長を背景に、前年同期比2pt増の20%と事業ポートフォリオの改善が継続
- 営業収益：海外事業の収益が12.0%増加した結果、海外事業の占有が前年同期比1pt増加し5%



※ ()内は前年同期の比率

03 アイフル決算概況

営業実績(アイフル単体)

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業債権残高	581,841	632,404	50,562	8.7%
営業貸付金残高	442,105	469,156	27,050	6.1%
無担保ローン	429,874	456,950	27,076	6.3%
有担保ローン	4,401	3,252	-1,149	-26.1%
事業者ローン	7,829	8,953	1,123	14.4%
信用保証残高	131,044	153,136	22,091	16.9%
新規顧客数（件）	48,590	64,359	15,769	32.5%
無担保ローン	48,562	64,340	15,778	32.5%
口座数（千件）	939	999	60	6.4%
無担保ローン	927	988	60	6.5%
営業貸付金利回り	14.5%	14.5%	-	-
無担保ローン18%以下残高占有率	99.2%	99.4%	0.2pt	-
貸倒発生額	6,161	6,857	696	11.3%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額	5,936	6,703	766	12.9%
貸倒償却率	1.1%	1.1%	-	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率	1.0%	1.1%	0.1pt	-

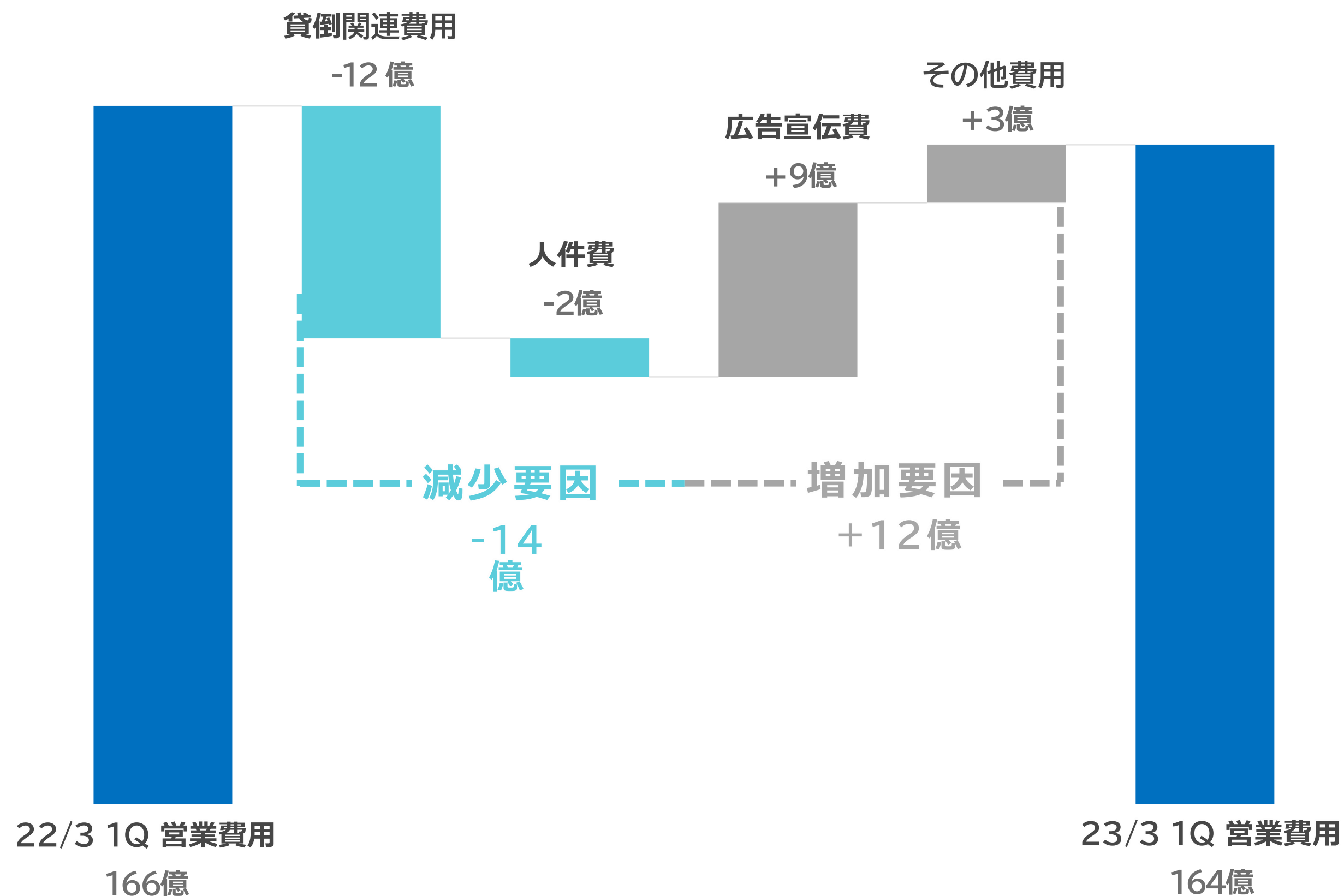
決算概要(アイフル単体)

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	20,320	21,505	1,184	5.8%
営業貸付金利息	15,404	16,412	1,008	6.5%
信用保証収益	2,791	2,978	187	6.7%
営業費用	16,699	16,408	-290	-1.7%
金融費用	1,429	1,377	-51	-3.6%
貸倒関連費用	6,648	5,359	-1,288	-19.4%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	2,314	3,288	973	42.1%
広告宣伝費	2,242	3,217	975	43.5%
販売促進費	71	70	-1	-1.8%
人件費	2,570	2,340	-230	-8.9%
その他費用	3,736	4,042	305	8.2%
営業利益	3,621	5,097	1,475	40.8%
営業外収益	320	11,485	11,165	-
営業外費用	10	4	-6	-62.4%
経常利益	3,930	16,578	12,648	321.8%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
当期純利益	3,822	15,932	12,110	316.8%

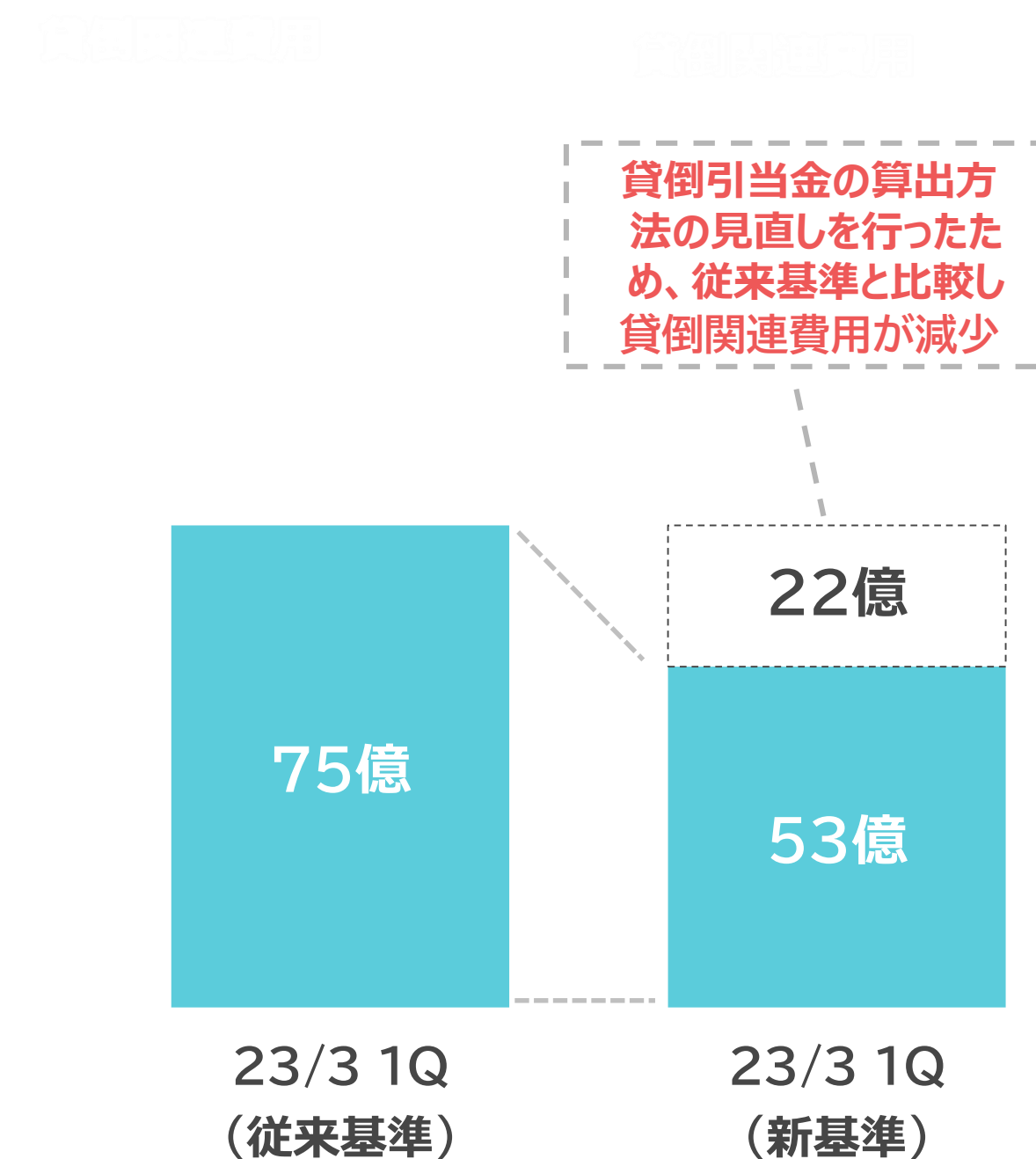
決算概要/営業費用の分解(アイフル単体)

- 営業費用においては、新規貸付拡大を目的とした広告宣伝等の投資により12億円増加した一方、貸倒関連費用を中心に14億円減少した結果、前年同期比2億円減の164億円
- 貸倒関連費用は、貸倒引当金の算出方法の見直しを行ったことにより、従来基準よりも22億円減の53億円

営業費用の増減要因



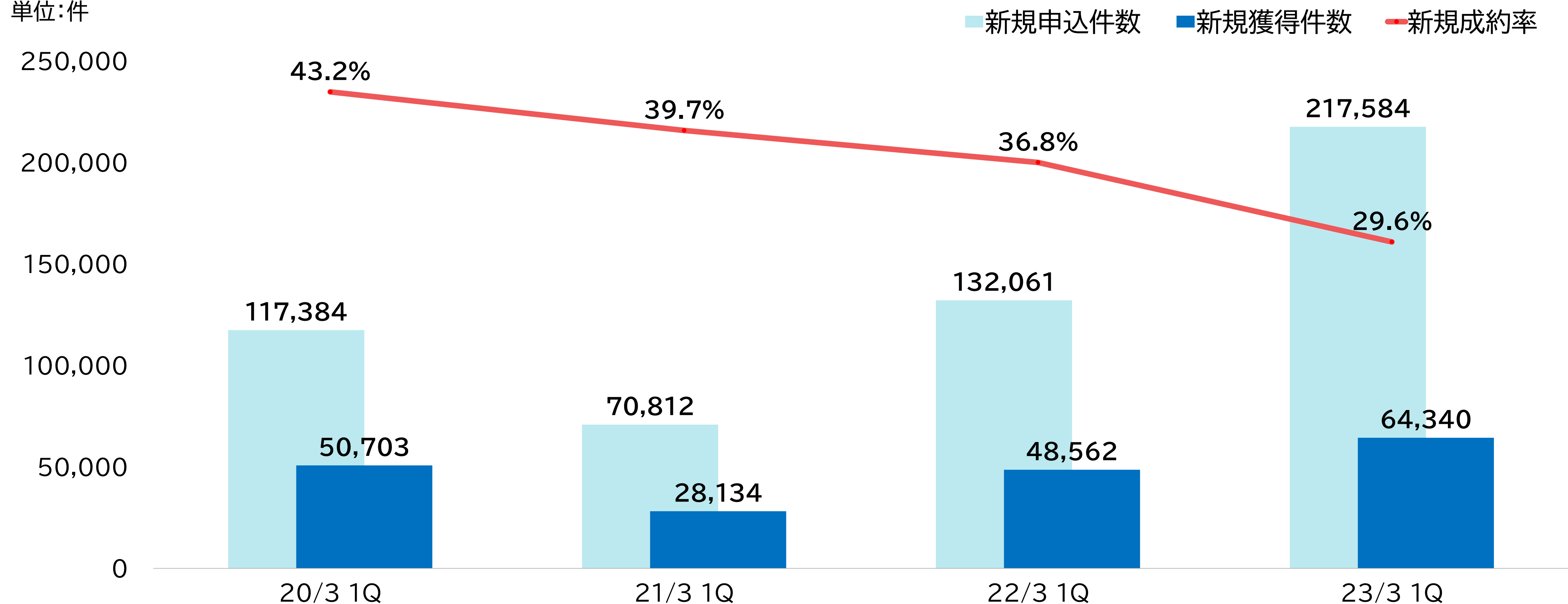
貸倒関連費用の従来基準との比較



ローン事業/新規獲得(アイフル単体)

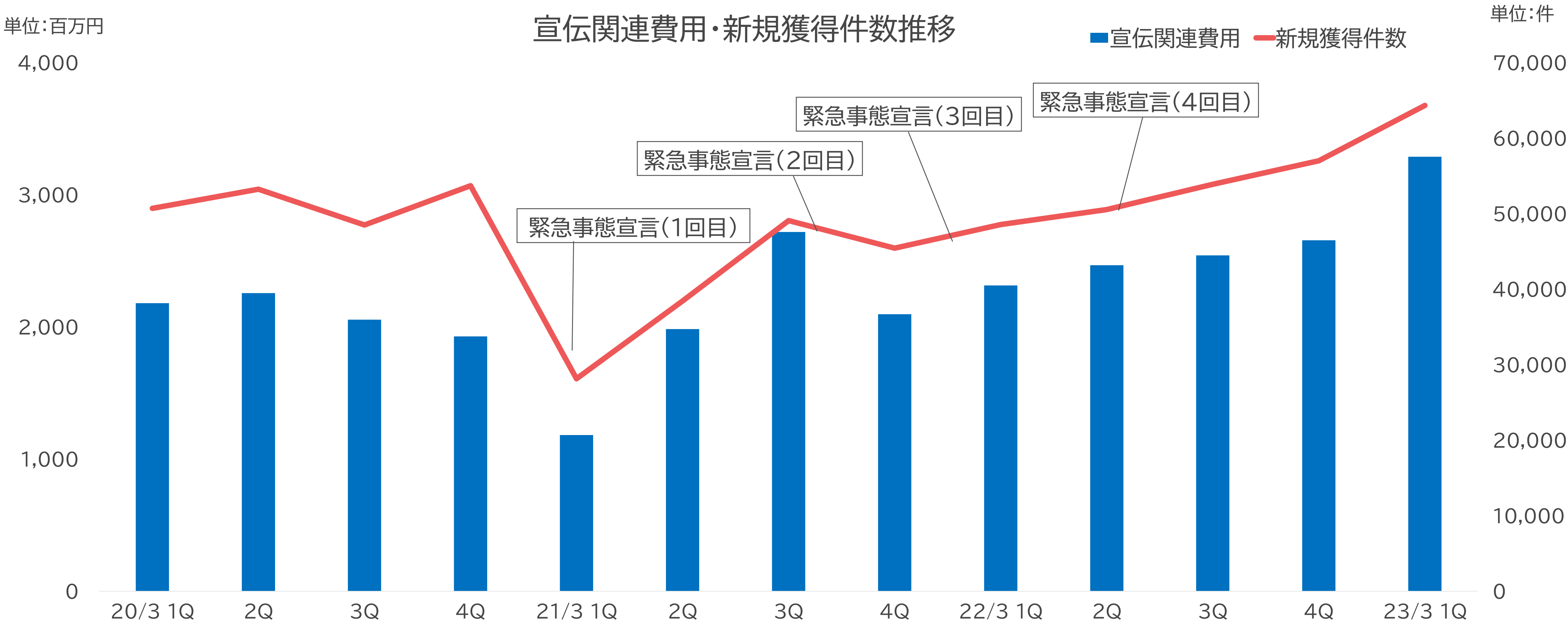
- 新型コロナの影響により資金需要が前々期に大きく落ち込んだが、前期以降回復基調が続く
- Web広告を強化し、申込フォームのUI/UXの改善を継続的に実施
- 結果、新規申込件数は前年同期比64.8%増の21.7万件、新規獲得件数は32.5%増の6.4万件

単位:件



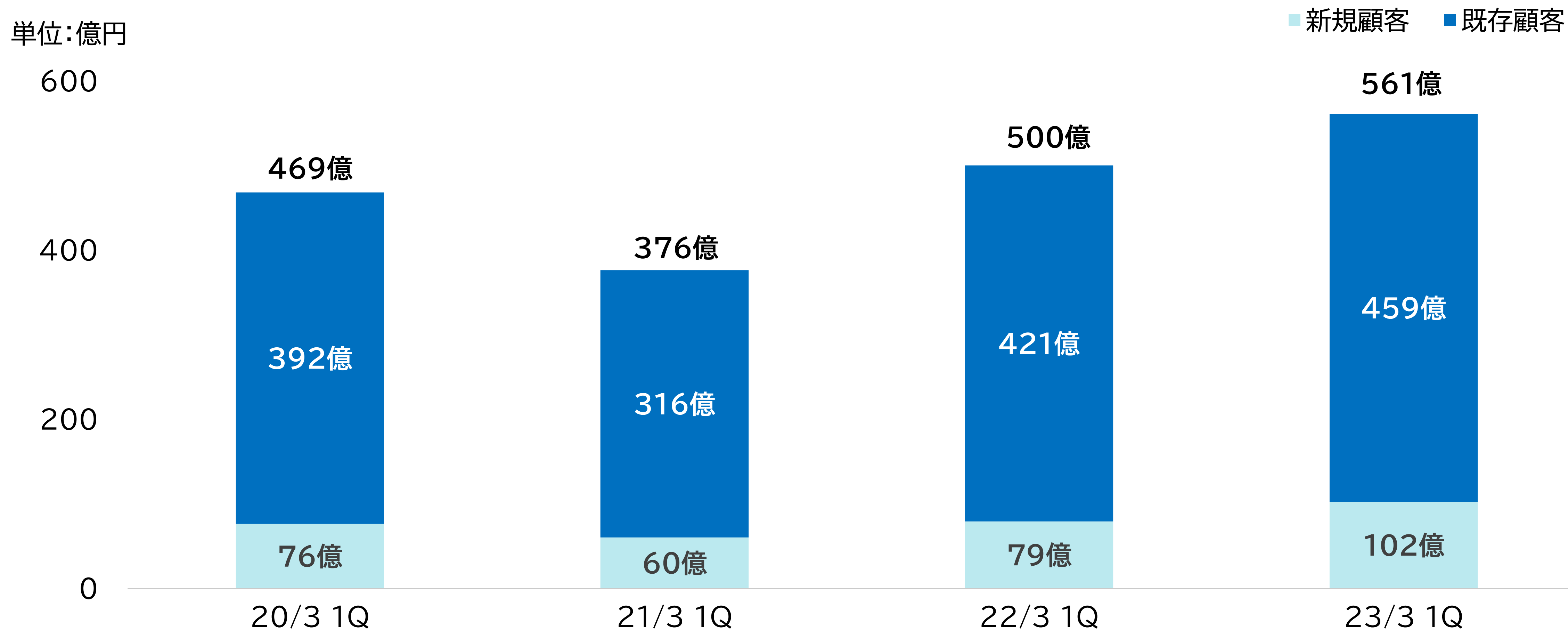
ローン事業/新型コロナ影響下の宣伝関連費用と新規獲得の相関(アイフル単体)

- 宣伝関連費用の投下量と新規獲得件数は相関関係にある
- 市場環境の動きに合わせた適切な宣伝関連費用の投下を実施
- 2021年3月期第3四半期以降積極的な費用投下を行ったことにより、今期1Qの新規獲得件数はコロナ前の水準を上回る



ローン事業/貸付量(アイフル単体)

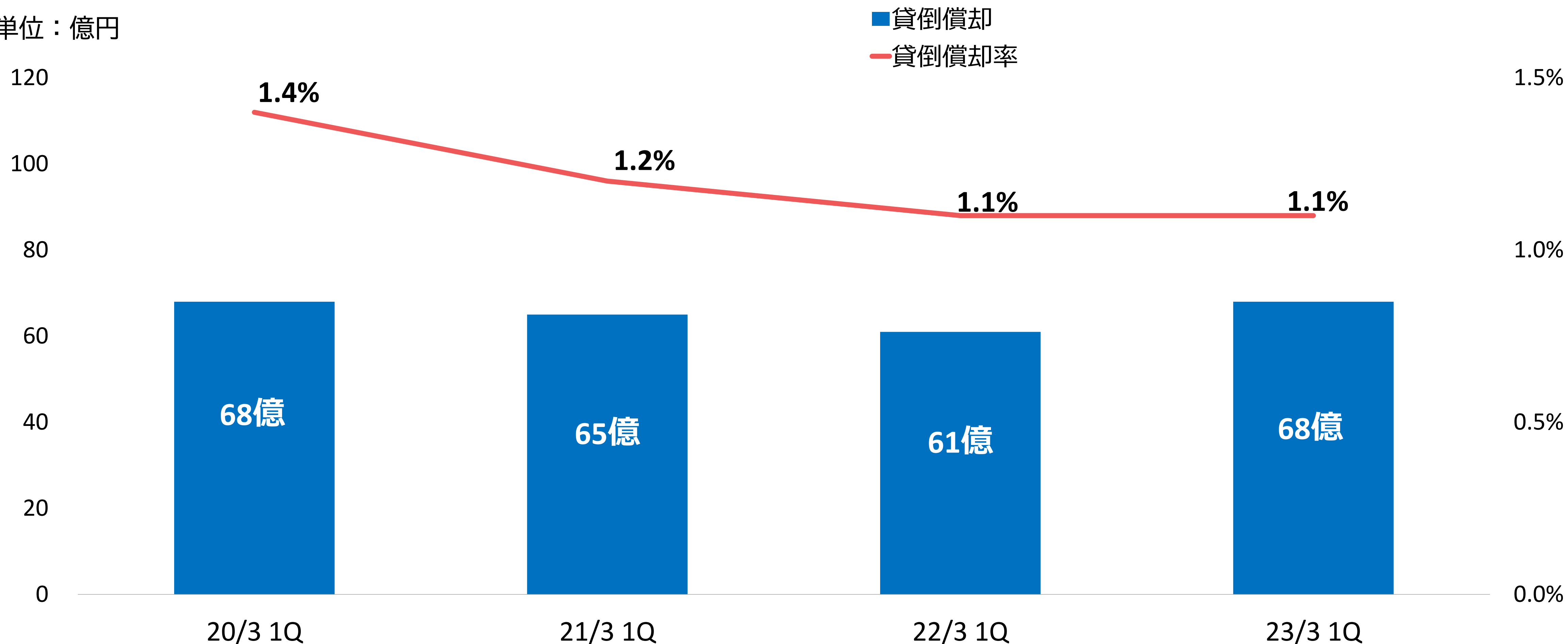
- 前期に引き続き、新規・既存の貸付量は堅調に推移
- 新規顧客への貸付量は前年同期比28.2%増の102億円、既存顧客への貸付量は前年同期比9.0%増の459億円



不良債権/貸倒償却(アイフル単体)

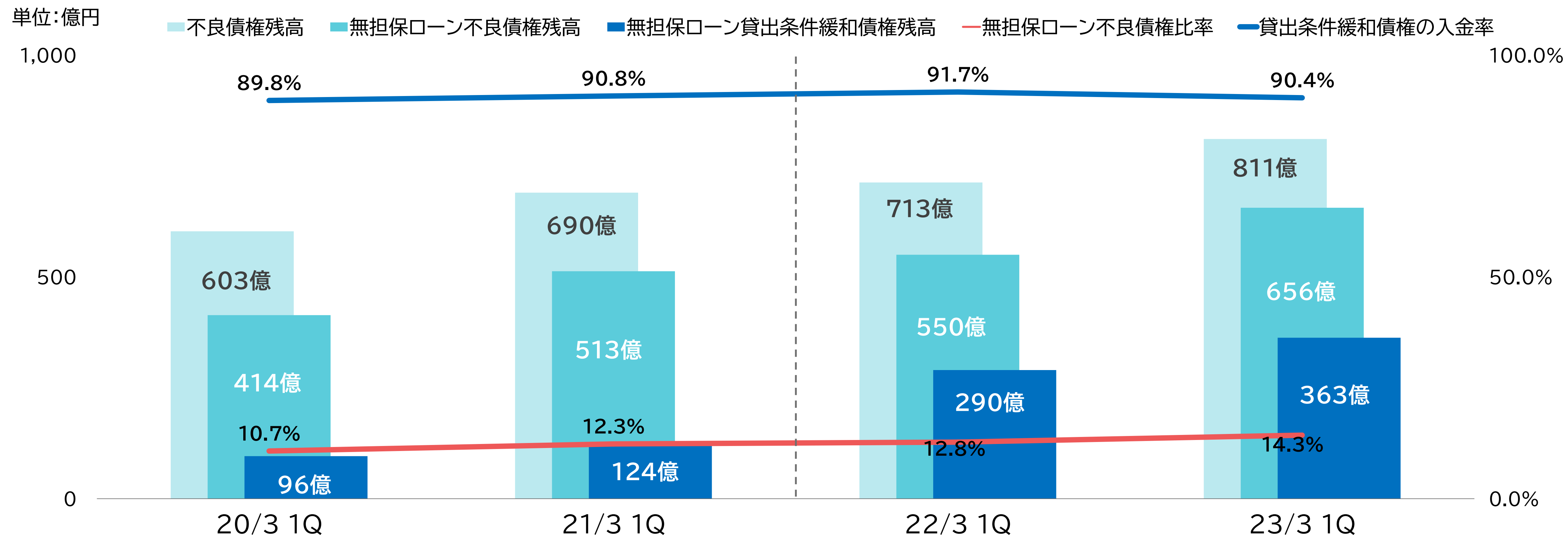
- 貸倒償却は前年同期比11%増の68億円となった一方で、償却率は1.1%と低位安定
- 貸倒償却の内、利息返還に係る債権放棄は1億円と低位で推移

単位：億円



不良債権/無担保ローン不良債権(アイフル単体)

- 定期的な入金が見込める和解債権(貸出条件緩和債権)の増加を主要因として、無担保ローン不良債権残高は前年同期比19.3%増の656億円、不良債権比率は1.5Pt増の14.3%となった

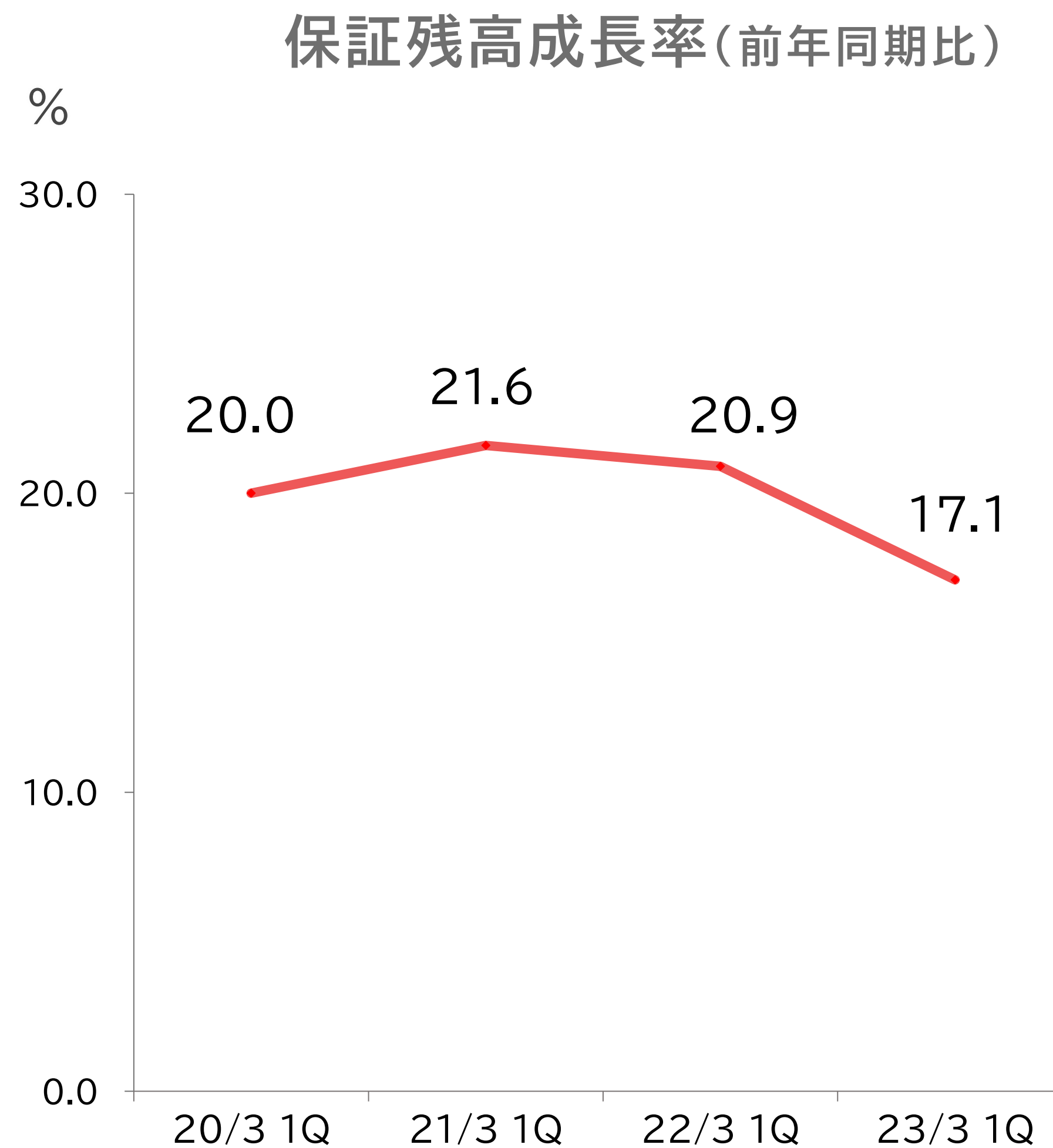
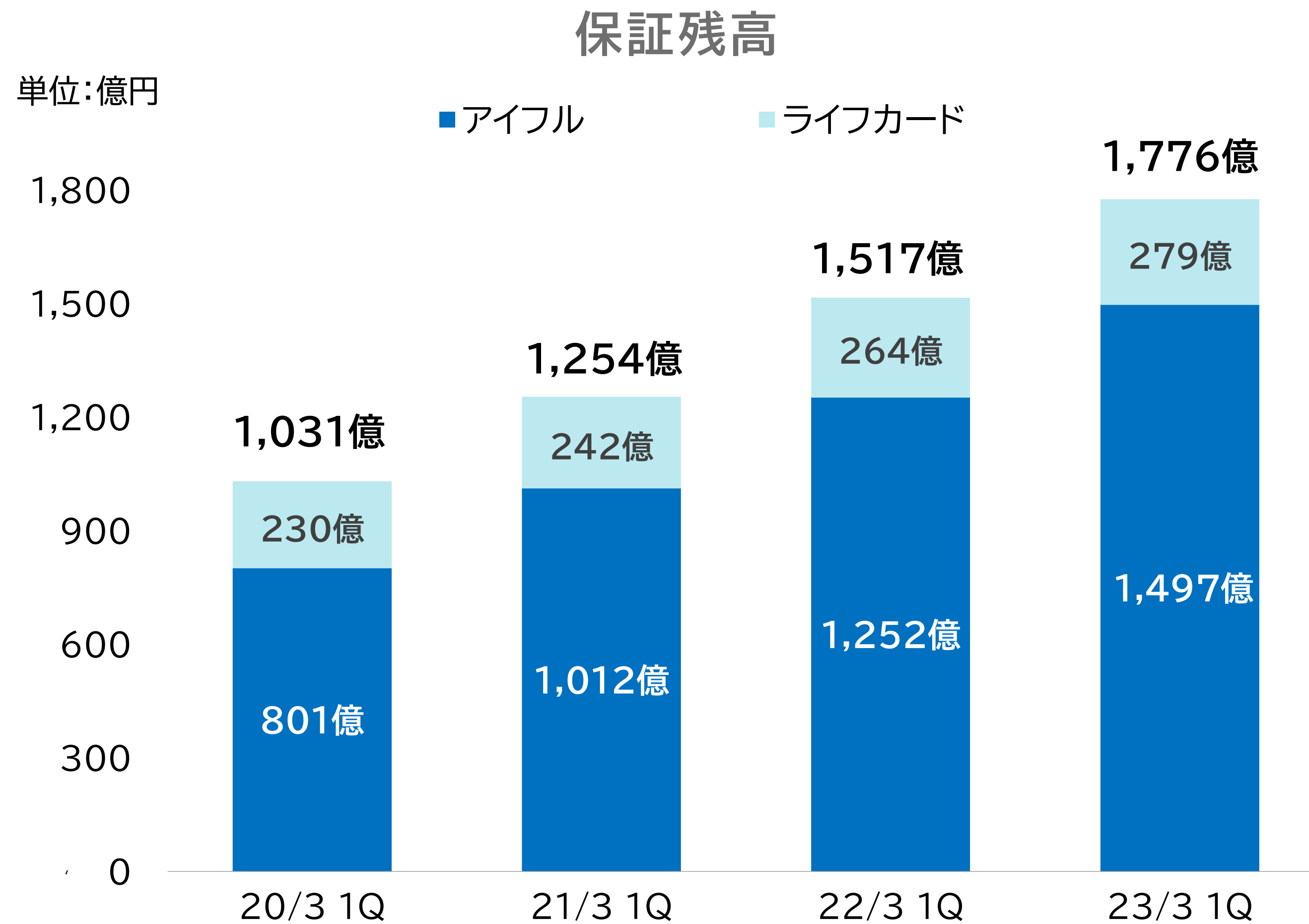


※1 2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含んでおります。

※2 2022年3月31日に「特定金融会社等の会計の整理に関する内閣府令」の「不良債権に関する注記」が改正されたため、同府令の改正後の区分等により表示しております。

信用保証事業/個人・事業者向け保証残高(アイフル/ライフカード)

- 商品の多様化や提携先との関係強化に取り組んだ結果、アイフルは前年同期比19.5%増の1,497億円、ライフカードは5.6%増の279億円となった

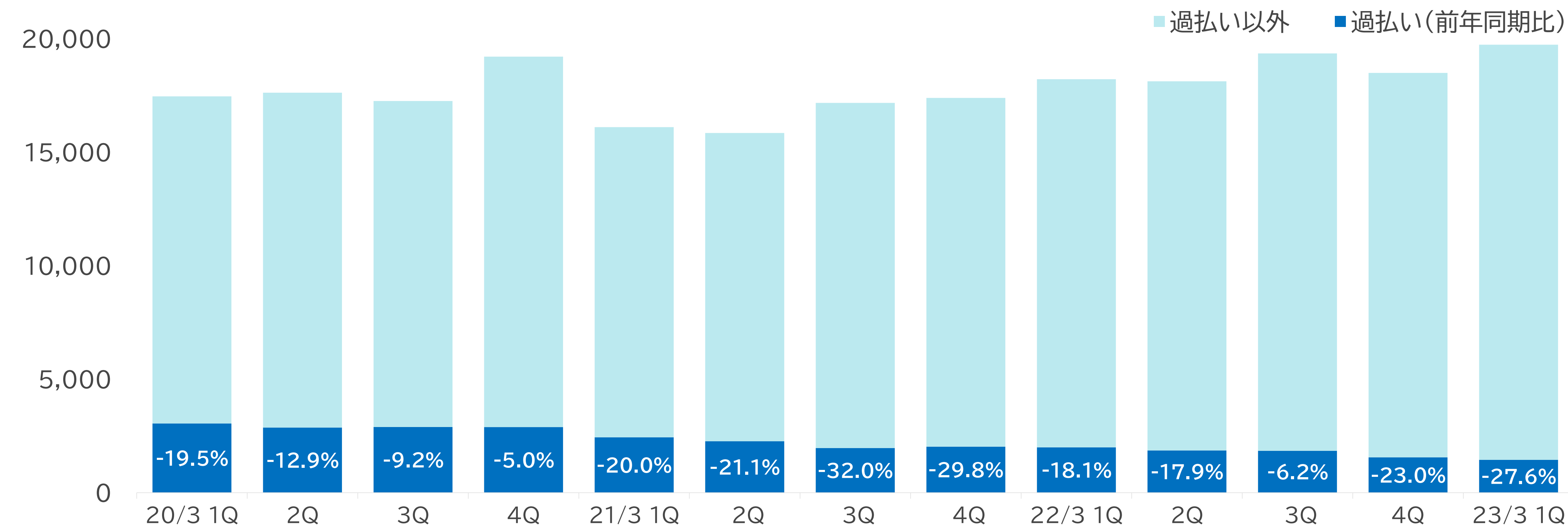


利息返還/弁護士等介入(アイフル単体)

- 介入入庫のうち過払いの対象となる介入過払の入庫は前年同期比27.6%減少

弁護士等介入入庫数の推移

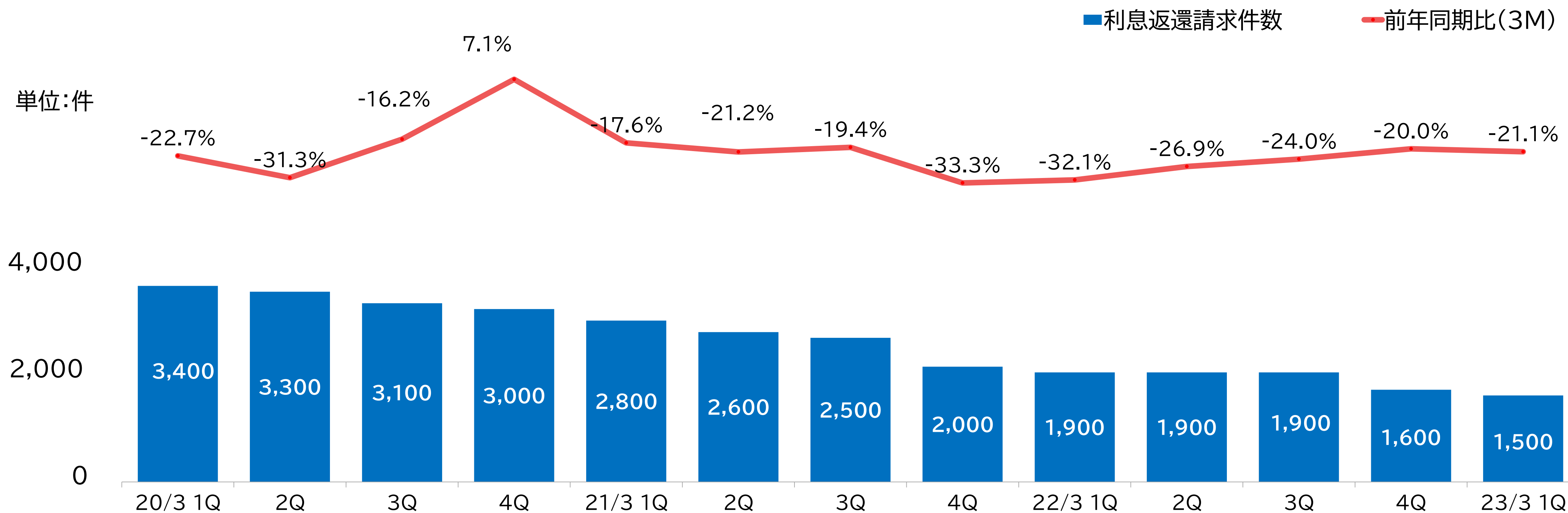
単位:件



利息返還/利息返還請求(アイフル単体)

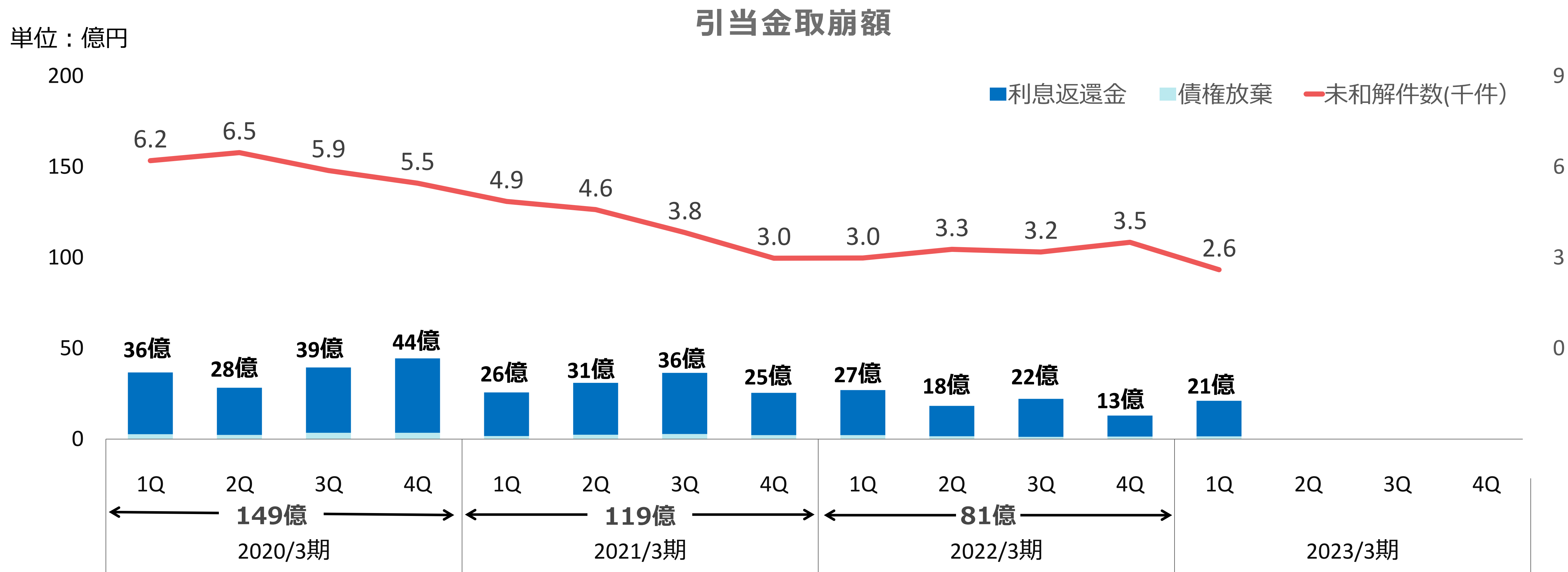
- 利息返還請求件数は前年同期比(3か月合計)21.1%減の1,500件と引き続き減少傾向

利息返還請求



利息返還/引当金の取崩額(アイフル単体)

- 利息返還損失引当金取崩額は前年同期比22.0%減の21億円（うち利息返還19億円、債権放棄1億円）
- 積極的に和解を進めたことで未和解件数は低位で安定しており、2,600件となった



利息返還/引当金の内訳(アイフル単体)

- 期首引当金残高237億円から発生額21億円（うち利息返還19億円、債権放棄1億円）を取り崩し、期末引当金残高は216億円

利息返還引当金残高（単体）

単位：百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	21,334	2,414	23,749
発生額（取崩額）	1,960	154	2,114
繰入額（戻入額）	-	-	-
期末引当金残高	19,374	2,259	21,634

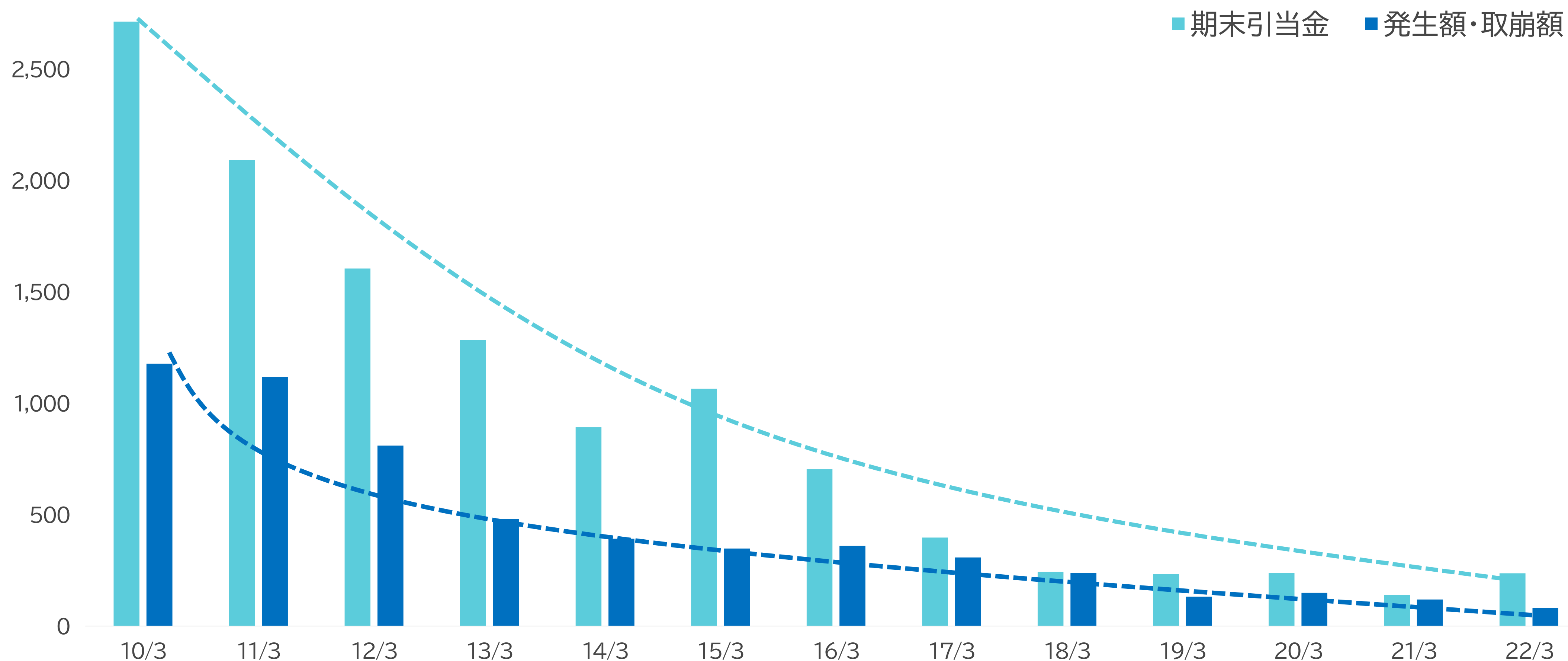
参考：連結利息返還引当金残高

単位：百万円	利息返還 損失引当金	債権放棄 引当金	合計
期首引当金残高	24,594	2,898	27,492
発生額（取崩額）	2,187	197	2,384
繰入額（戻入額）	-	-	-
期末引当金残高	22,406	2,701	25,108

利息返還金と期末引当金残高の推移(アイフル単体)

- 利息返還請求の減少とともに、利息返還引当金期末残高も減少
- 2022年3月期末に180億円（うち利息返還172億円、債権放棄7億円）の追加繰入を実施し安全性を確保

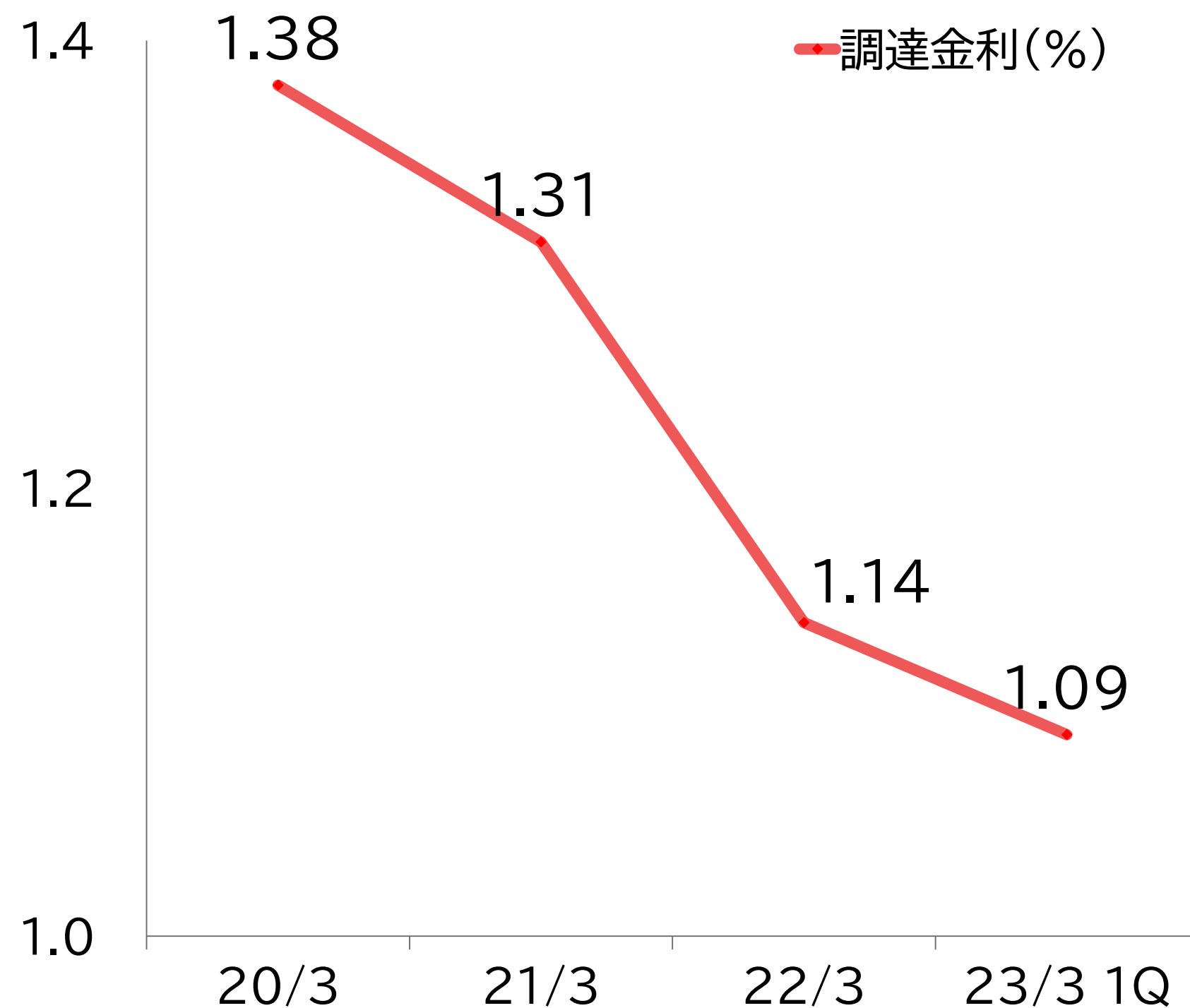
単位：億円



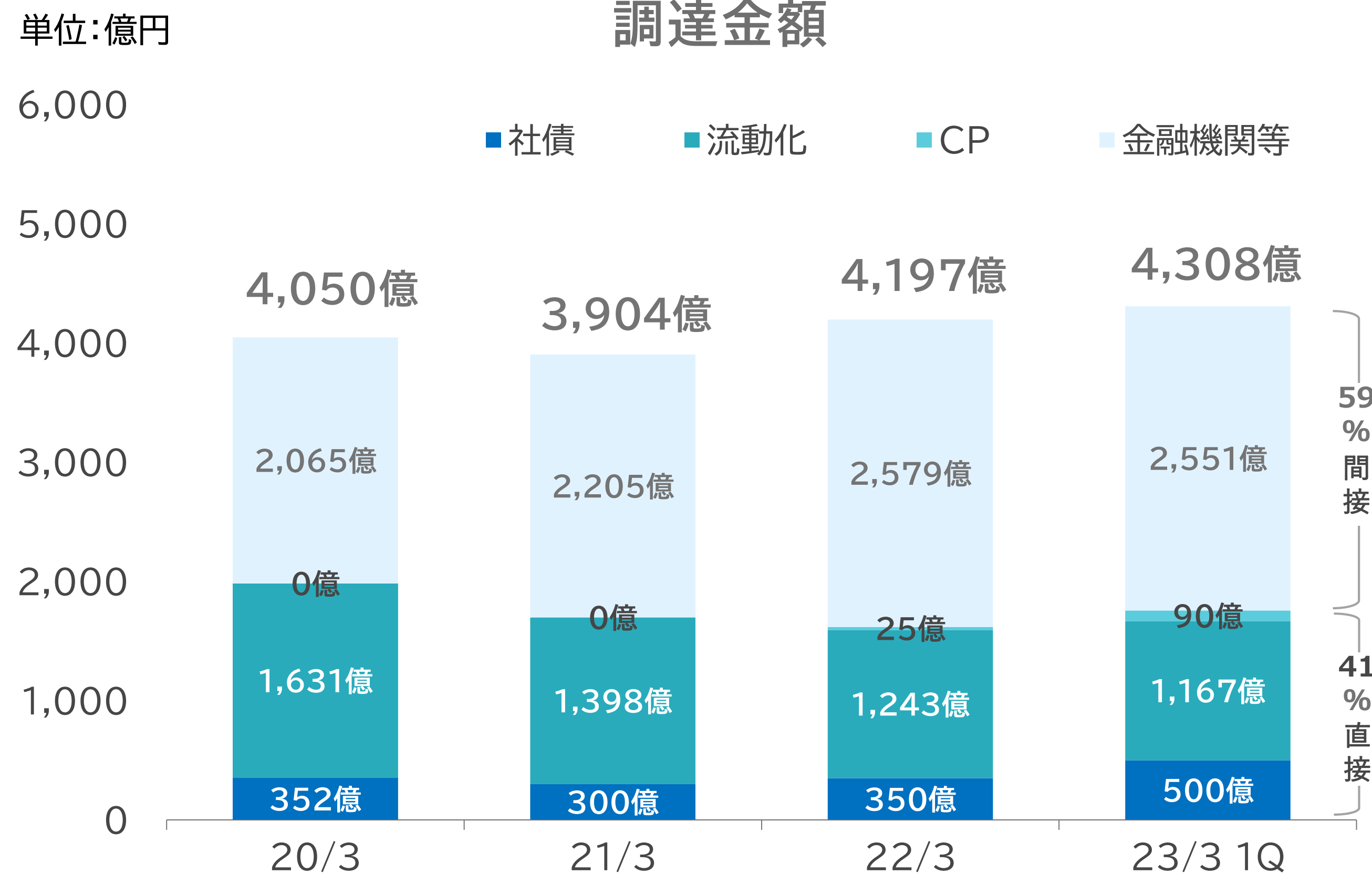
資金調達(アイフル単体)

- 調達金利:業績改善および外部格付の格上げにより直接・間接ともに低下傾向
- 調達金額:残高成長に伴う調達金額の増加により、前期比2.6%増の4,308億円

調達金利



調達金額



04 ライフカード決算概況

ライフカードの経営戦略

ライフカードでは、より多くのお客様にBe Uniqueな商品を提供する
ファイナンシャル・インクルージョンへの取り組み、また、長期間ご利用
いただくことでLTVを高め収益性を向上させます

学生
専用



若年層への早期アプローチにより
LTVを高める

少額
決済



少額決済の提供で
より多くのお客様にご利用いただく

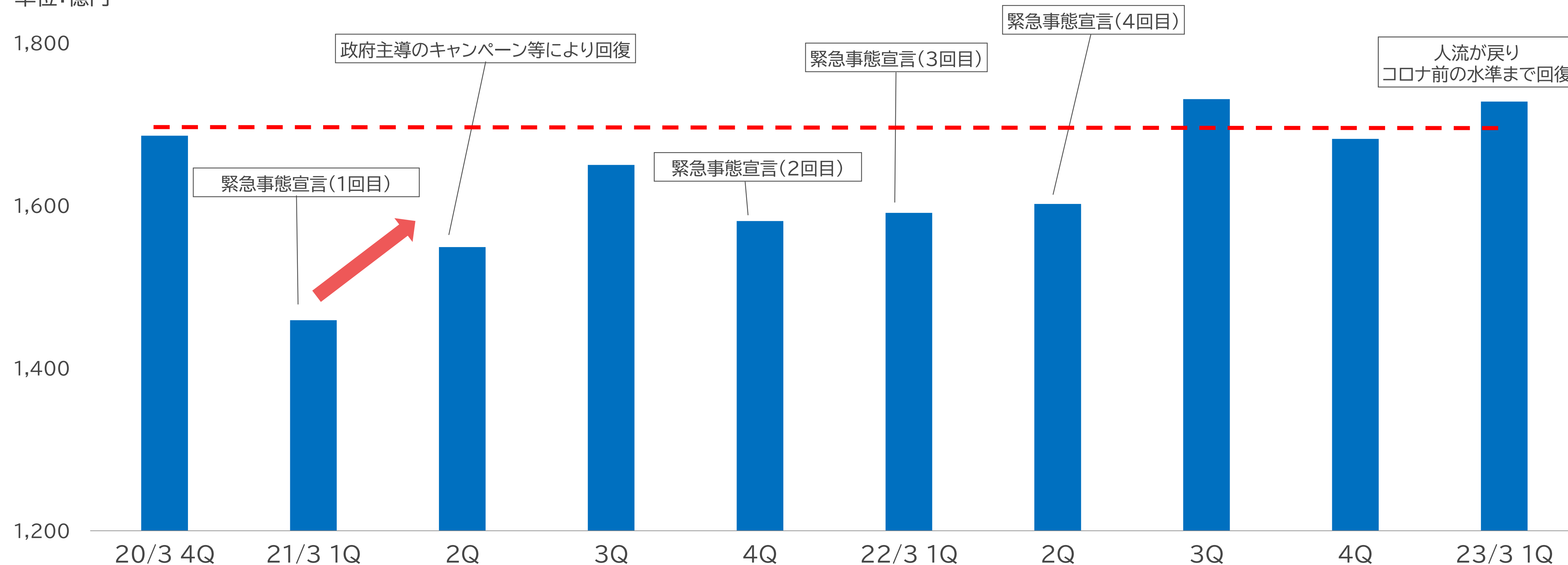
決算概要(ライフカード)

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
営業収益	7,884	8,741	857	10.9%
信用購入あっせん収益	3,957	4,896	938	23.7%
営業貸付金利息	1,043	974	-69	-6.6%
信用保証収益	424	452	27	6.6%
その他収益	2,458	2,418	-40	-1.6%
営業費用	6,823	8,236	1,412	20.7%
金融費用	251	217	-34	-13.6%
貸倒関連費用	775	1,058	282	36.4%
貸倒償却率	0.59%	0.57%	-	-0.02pt
利息返還関連費用	-	-	-	-
広告宣伝費	201	327	126	62.6%
販売促進費	623	770	147	23.7%
人件費	1,157	1,250	92	8.0%
その他費用	3,813	4,612	798	20.9%
営業利益	1,061	505	-555	-52.4%
経常利益	1,120	533	-587	-52.4%
当期純利益	657	599	-57	-8.7%

四半期毎 買上額推移(ライフカード)

- WEBを中心とする新しい生活様式が浸透し、経済活動が回復したことにより、ショッピング買上は堅調に推移

単位:億円

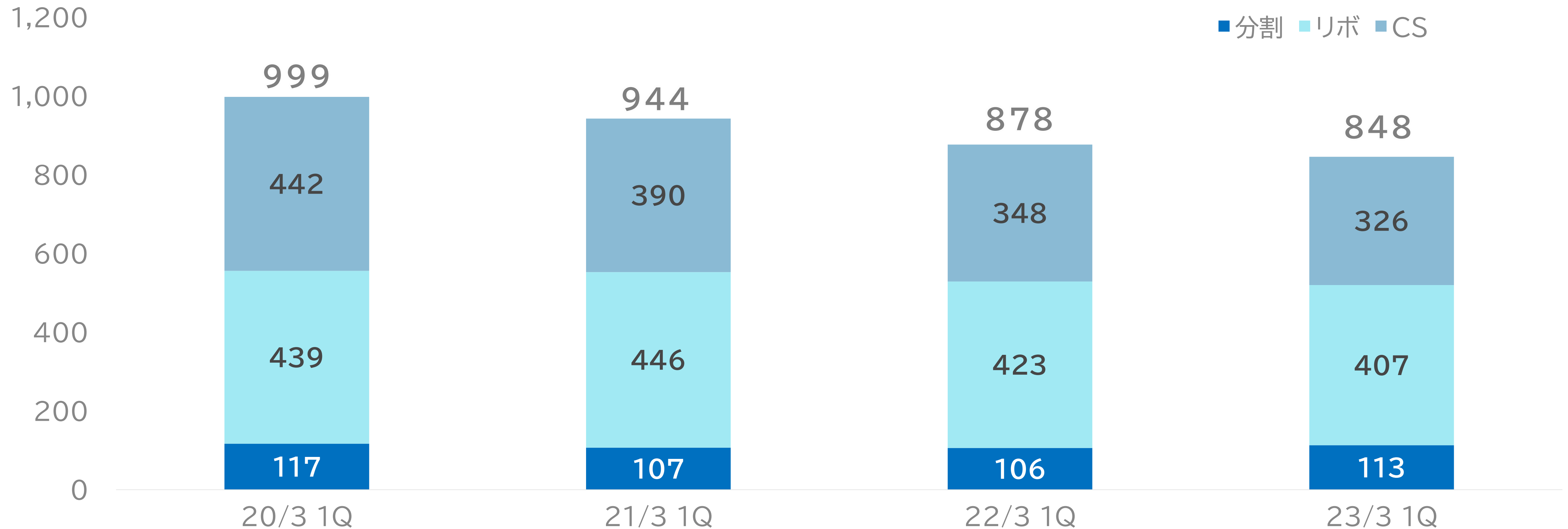


【残高推移】分割・リボ・CS(ライフカード)

- CS残高は前年同期比6.3%減の326億円
- 分割・リボは微減。残高増加に向け、アプリのリニューアル・分割利用回数拡充等の利便性向上施策を実施

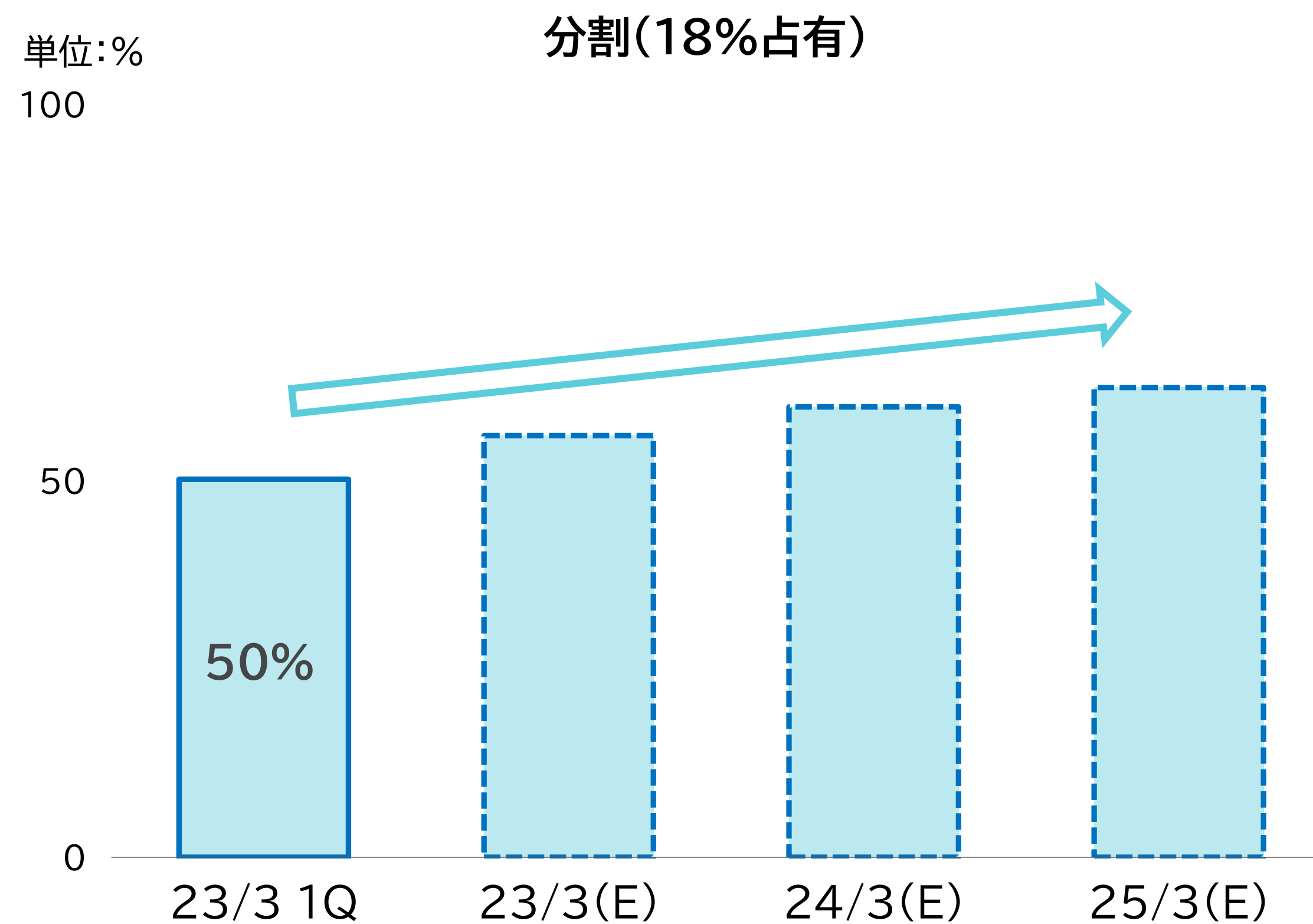
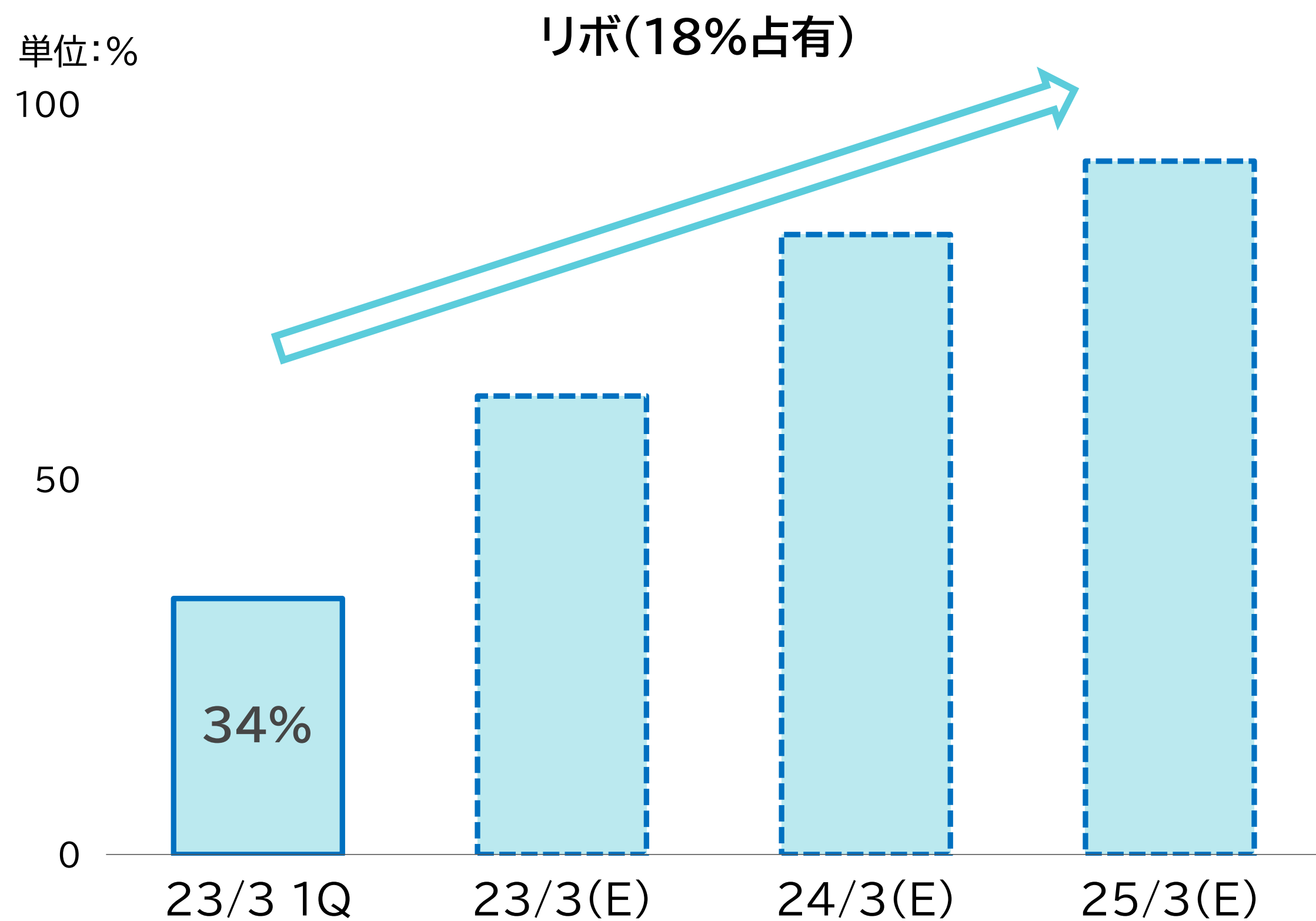
単位：億円

残高推移(営業債権ベース)



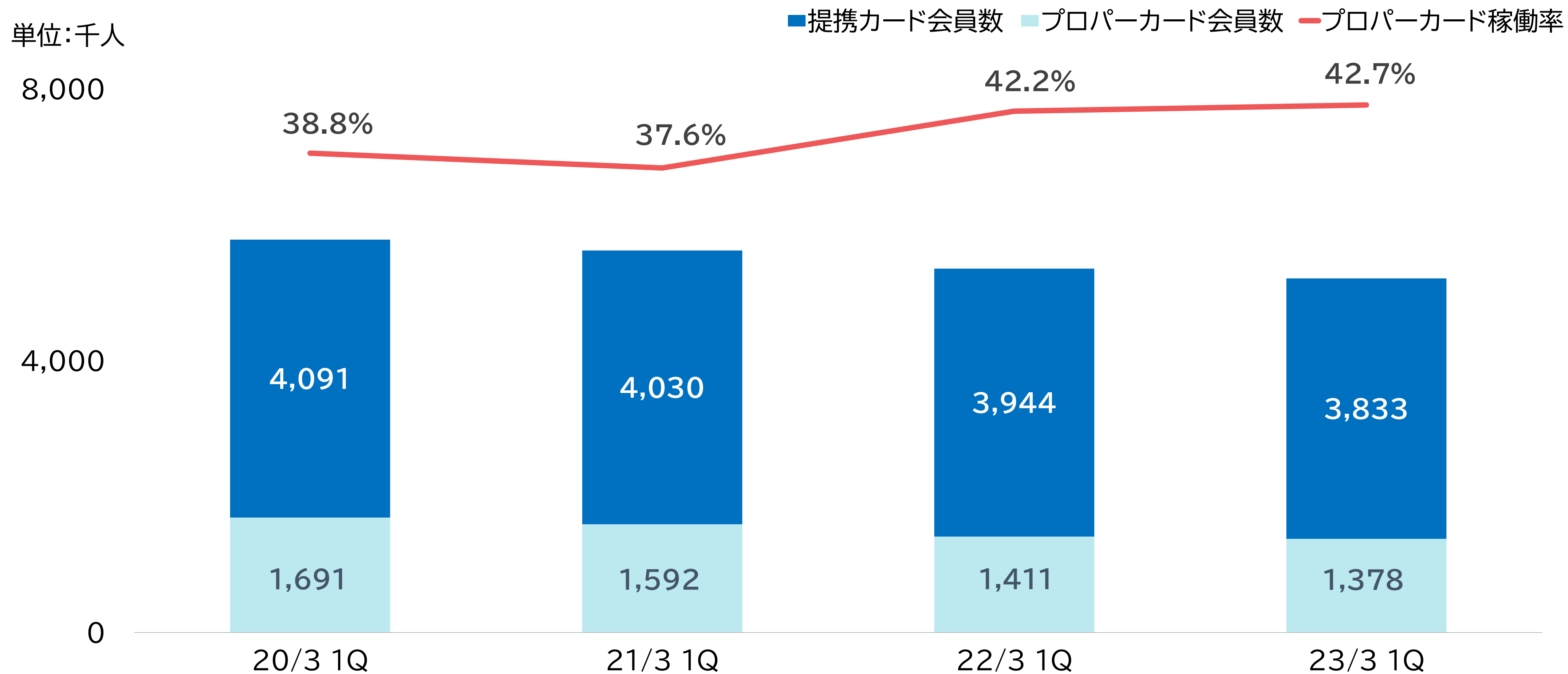
リボ・あと分割払いの利回り推移 ポートフォリオ(ライフカード)

- ショッピング利用分のリボ・あと分割手数料は、2022年2月より実質年率18.0%に改定(2022年2月1日以降の利用分から順次引上げ)
- 足元での実質年率18.0%の占有率は、リボ払いが34%、分割払いが50%となっており、段階的に増加していく見込み



有効カード会員数・稼働率(ライフカード)

- 稼働重視の獲得手法の推進や、WEBサイト及びスマホアプリのリニューアルにより稼働率は42.7%に上昇



ゴールドカードの有効会員数推移(ライフカード)

- 積極的なプロモーションの実施を背景に、年会費11,000円のゴールドカード有効会員数が大幅に増加
- 81.6%と高い稼働率を実現し、収益増加に貢献

ゴールドカードについて



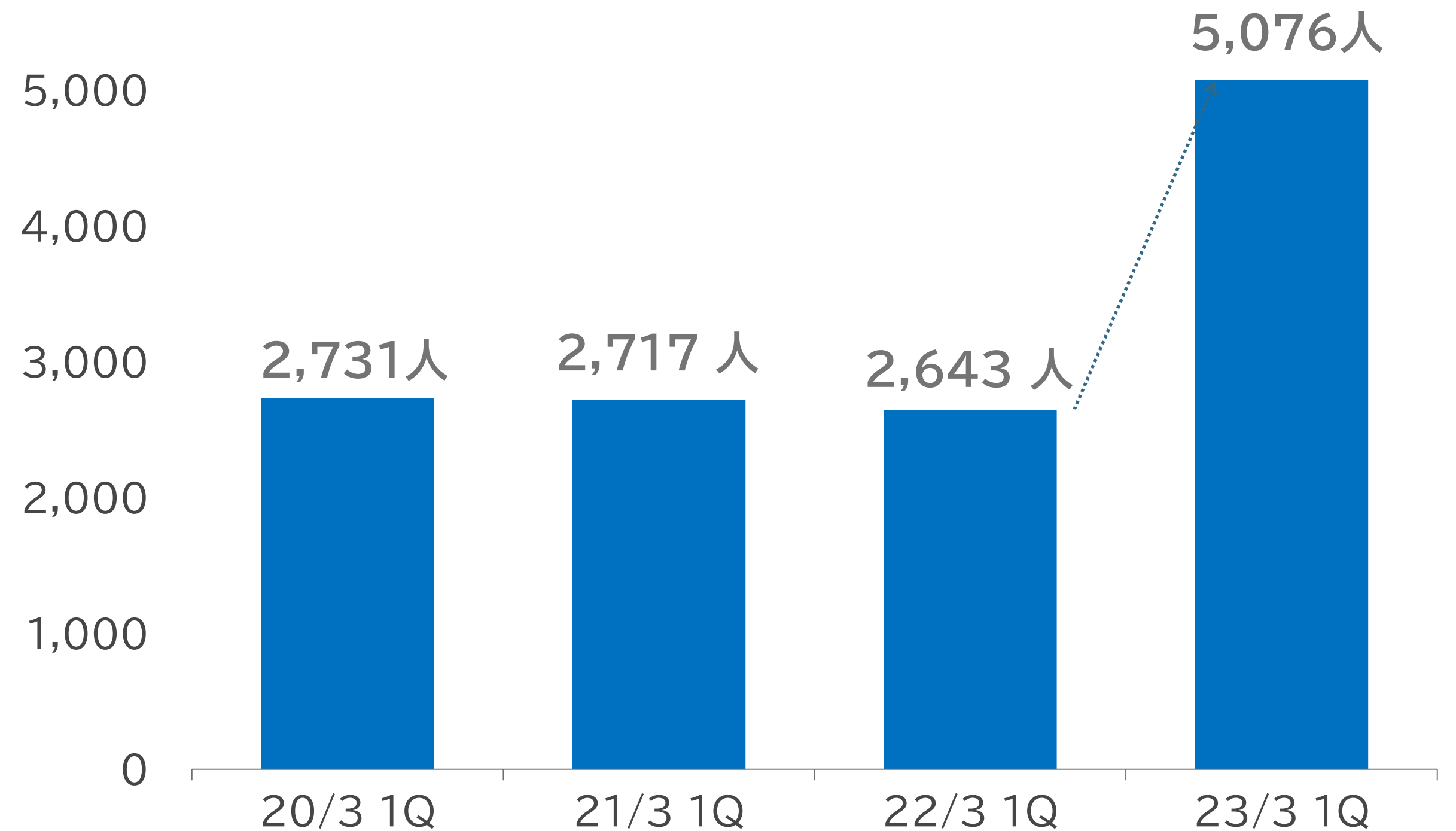
稼働率(22/6)

81.6%

- ✓ GOLD会員専用サービスが利用可能
- ✓ 海外旅行傷害保険、国内旅行傷害保険、ショッピングガード保険などが自動付帯
- ✓ 最高レベルのポイントサービス

単位:人

ゴールドカード 有効会員数

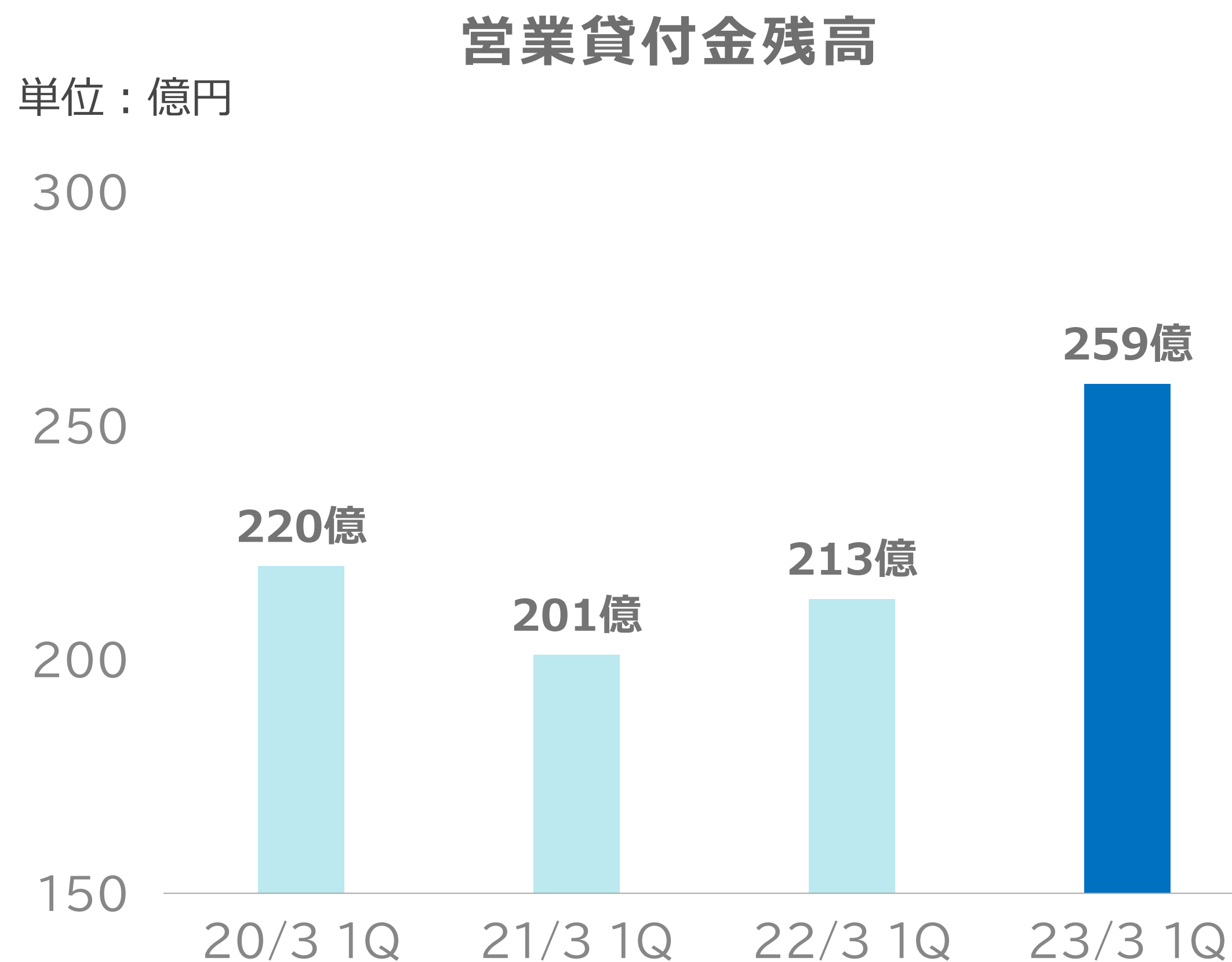


05 グループ各社決算概況

AIRA&AIFUL(タイ王国)

- マクロ環境：国内需要の改善や好調な輸出等により、実質GDP成長率は前年同期（2021年1～3月）のマイナス2.6%から今期（2022年1～3月）は2.2%と、プラス成長に転じた（タイ国家経済社会開発委員会）
- 新規申込の好調を背景に残高成長は21.8%増の259億円。結果、第1四半期（1～3月）における経常利益は2.6億円

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	21,316	25,954	21.8%
口座数（千）	325	333	2.3%
貸倒償却率	3.8%	2.5%	-
営業収益	1,405	1,574	12.0%
営業利益	126	266	111.0%
経常利益	126	263	107.9%
当期純利益	126	288	127.6%



※A&Aは12月期決算のため、第1四半期累計期間は1月～3月です。

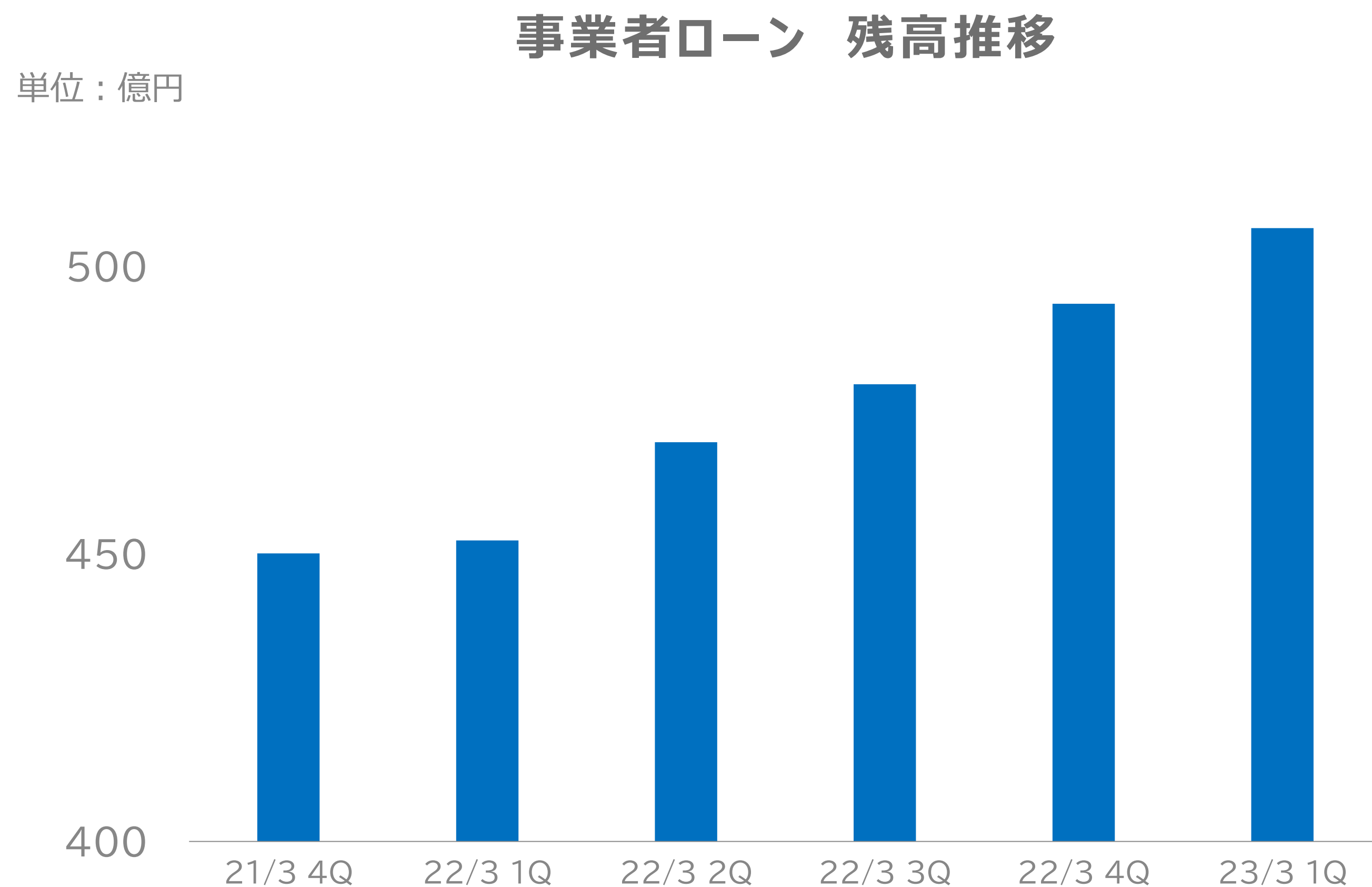
※為替レート（タイバーツ）

B/S：2021年度1Q 3.54円、2022年度1Q 3.68円 P/L：2021年度1Q 3.50円、2022年度1Q 3.52円

アイフルビジネスファイナンス

- 効果的な宣伝広告の投下を背景に、事業者ローン残高は前年同期比12.0%増
- 営業利益は貸倒関連費用、広告宣伝費の増加を主要因として前年同期比29.2%減

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減率
営業貸付金残高	58,351	57,709	-1.1%
有担保ローン	13,117	7,043	-46.3%
事業者ローン	45,234	50,666	12.0%
口座数 (千)	25	26	5.5%
貸倒償却率	1.2%	1.4%	0.2%
営業収益	1,637	1,727	5.5%
営業利益	453	321	-29.2%
経常利益	456	323	-29.1%
当期純利益	275	196	-28.7%



※診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継しております。

その他グループ会社トピックス

AG メディカル

営業利益 0.6億円

経常利益 0.6億円

当期純利益 0.4億円

営業債権残高 87億円

事業開始時から35.6%増

AG キャランティ

営業利益 1.3億円

経常利益 1.3億円

当期純利益 0.8億円

割賦売掛金残高 186億円
(前年同期比 +97.3%)

加盟店数 2,741店
(前年同期比 +31.5%)

AG ミライバライ

営業利益 -2.1億円

経常利益 -2.1億円

当期純利益 -2.0億円

買上 47億円
(前年同期比 +113.0%)

加盟店数 454千店
(前年同期比 +28.0%)

06 參考資料

営業収益・営業費用(連結)

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
連結営業収益	32,329	34,692	2,362	7.3%
営業貸付金利息	18,588	20,027	1,438	7.7%
信用購入あっせん収益	4,701	5,359	658	14.0%
信用保証収益	3,865	4,052	186	4.8%
買取債権回収高	228	253	25	11.0%
償却債権取立益	1,934	1,890	-44	-2.3%
その他の営業収益	3,011	3,109	97	3.3%
連結営業費用	26,621	28,082	1,461	5.5%
金融費用	1,805	1,726	-78	-4.3%
貸倒関連費用	8,747	8,218	-529	-6.0%
利息返還関連費用	-	-	-	-
宣伝関連費用	3,292	4,557	1,265	38.4%
広告宣伝費	2,541	3,693	1,152	45.3%
販売促進費	750	863	112	15.0%
人件費	4,248	4,248	0	0.0%

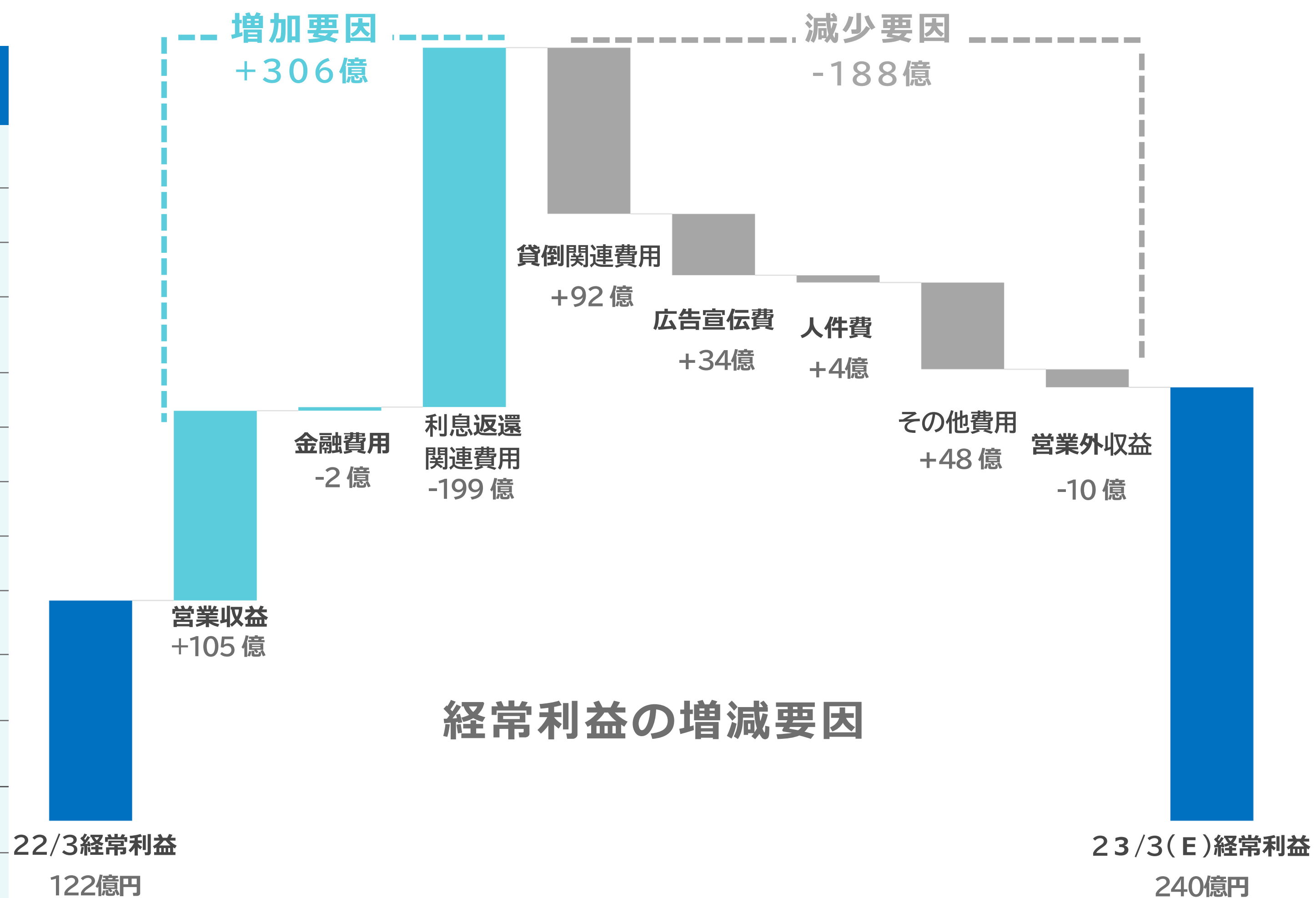
営業費用・利益(連結)

単位：百万円	22/3 1Q	23/3 1Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
その他営業費用	8,527	9,331	803	9.4%
支払手数料	3,796	4,287	491	13.0%
通信費	760	772	11	1.5%
消費税	1,255	1,359	104	8.3%
減価償却費	798	859	61	7.7%
消耗品費・修繕費	645	712	66	10.3%
地代家賃	448	439	-9	-2.0%
賃借料	93	101	7	8.1%
営業利益	5,708	6,609	900	15.8%
営業外収益	180	111	-68	-37.9%
営業外費用	174	6	-168	-96.3%
経常利益	5,714	6,714	1,000	17.5%
特別利益	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-
税引前利益	5,714	6,714	1,000	17.5%
非支配株主に帰属する当期純利益	65	148	82	124.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,012	5,945	933	18.6%

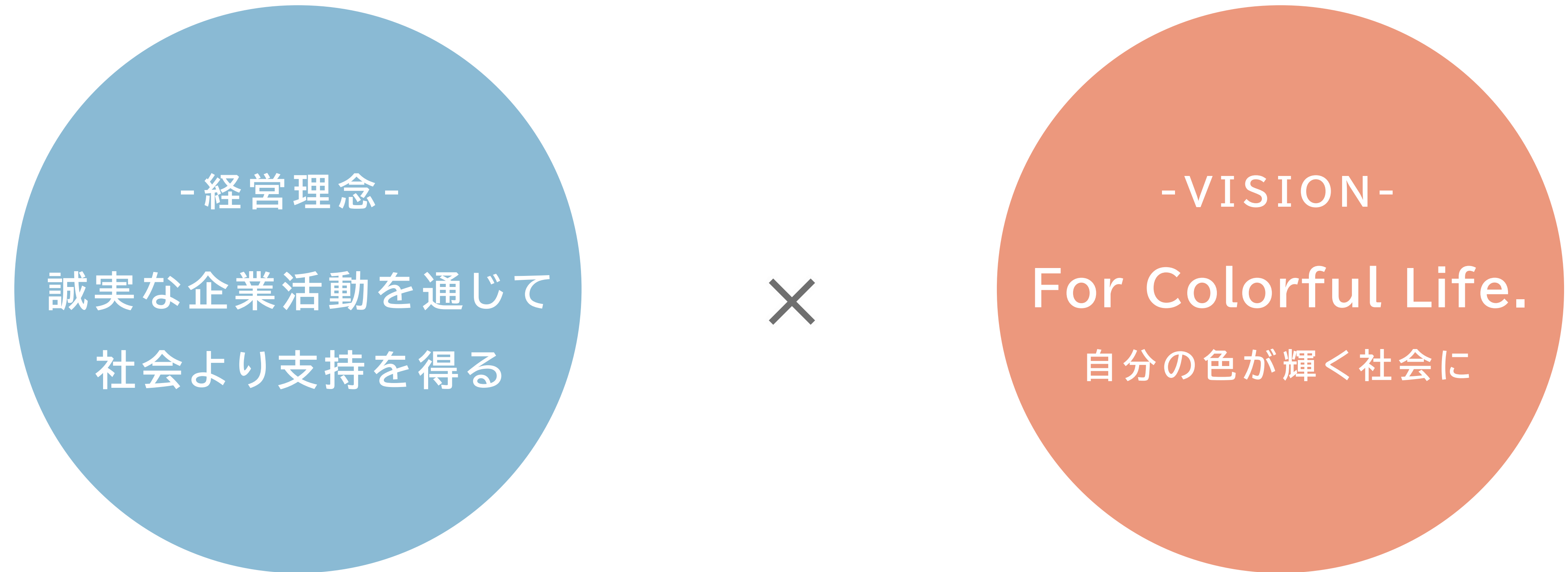
計画概要

22/3実績と23/3計画概要

単位：百万円	22/3	23/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益	132,097	142,600	10,502	8.0%
営業費用	120,855	118,800	-2,055	-1.7%
金融費用	7,041	6,800	-241	-3.4%
利息返還関連費用	19,929	-	-19,929	-100.0%
貸倒関連費用	27,918	37,200	9,281	33.2%
広告宣伝費	11,321	14,800	3,479	30.7%
人件費	16,704	17,200	495	3.0%
その他費用	37,939	42,800	4,860	12.8%
営業利益	11,242	23,800	12,557	111.7%
営業外収益	1,110	100	-1,010	-91.0%
営業外費用	35	-	-35	-100.0%
経常利益	12,265	24,000	11,734	95.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,334	21,300	8,965	72.7%



サステナビリティ基本方針



私たちアイフルグループは、
あらゆる人が自分らしくいられる未来を創造していくために
「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。

サステナビリティへの取り組み



金融教育セミナー開催



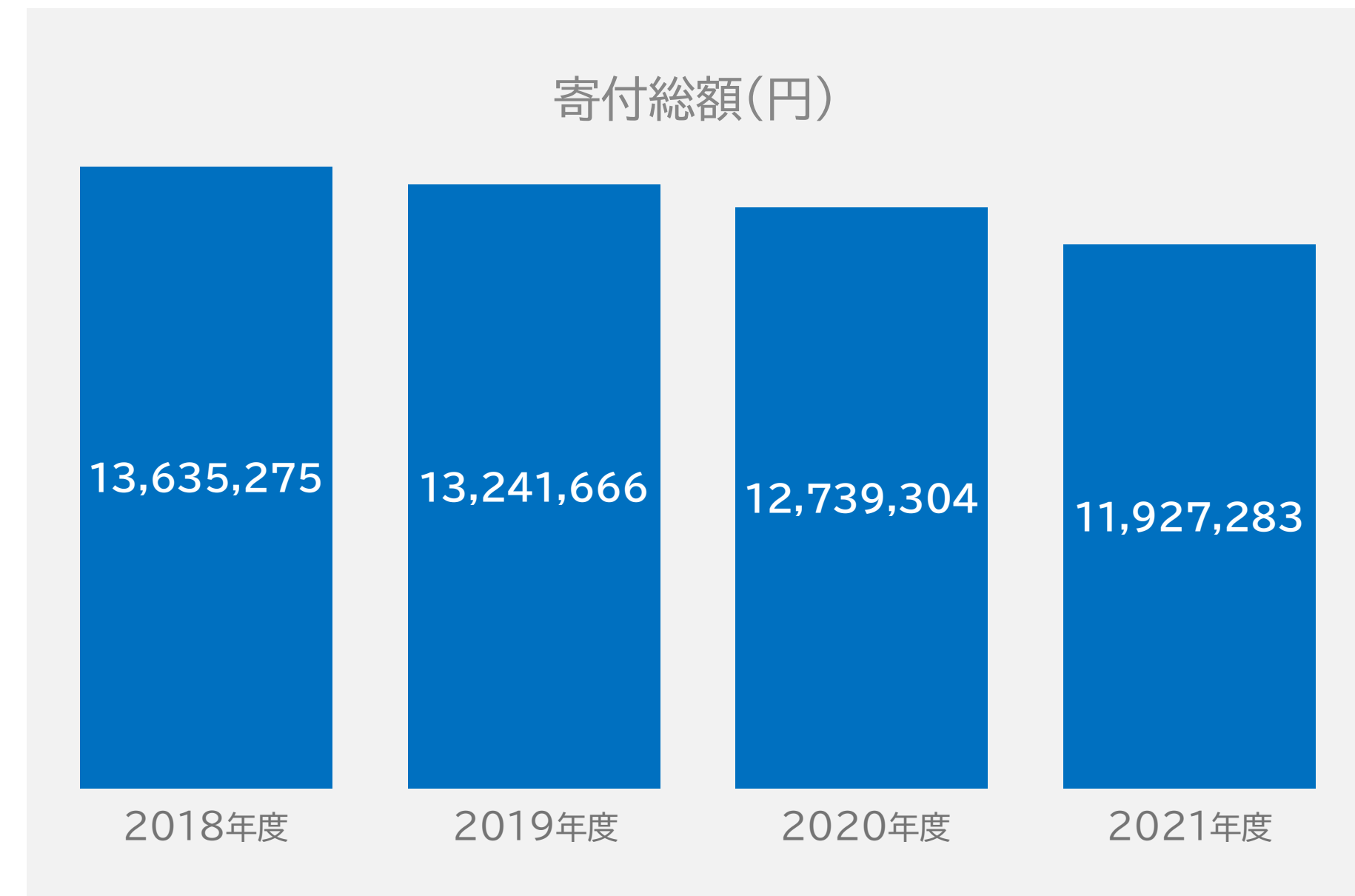
- 日本大学(商学部)で行われた日本貸金業協会の出前講座※にて講義を行う

※ 出前講座

日本貸金業協会による資金需要者の利益の保護と貸金業者の健全な発展を目的とした活動の一環で、高校・大学・専門学校等の教育現場及び行政機関の要請を受け、講師を派遣する制度



社会貢献カードによる寄付



- ライフカードは社会貢献型クレジットカードを発行し、収益の一部を提携団体やNPO法人に寄付している

主な取り組み一覧

重点課題	テーマ	主な取り組み・事業	関連するSDGs
環境面	脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の管理 ・クールビズ、ウォームビズの取り組み ・COOL CHOICEへの賛同 ・業務効率化への取り組み ・複合機の台数削減 	  
	資源循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別、リサイクル ・緑の募金活動 ・グリーン商品、エコマーク商品の購入推進 ・カード明細のWEB化 	 
社会面	社会の期待に応える商品づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な資金ニーズに応える商品開発 ・お客様の声の収集とサービス品質の向上 ・AIFUL-CSIRT(サイバー攻撃対策チーム) 	
	職場および労働環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人事大綱の制定 ・ハラスメントホットライン ・従業員の意識、満足度調査の実施 ・健康診断、ストレスチェックの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成制度の拡充 ・フレックスタイム制度 ・テレワーク、時差出勤の導入 ・防災訓練の実施 
	ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プラチナくるみん認定取得 ・女性採用の拡大 ・女性の育成、登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・定年再雇用制度 ・障害者の雇用 
	社会貢献・地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・献血活動 ・AED設置、救命講習 ・大規模災害に伴う寄付 ・新型コロナウイルス対策支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャリティーコースでポイント寄付 ・クレジットカードを通じた社会貢献 ・ハッカソンへの協賛   

アイフルグループの事業

2022年7月7日にアイフルグループのVI(ヴィジュアルアイデンティティ)を刷新
事業の多角化により、**全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造**を目指す

ローン・保証



事業者ローン



クレジット・保証



後払い決済



クラウドファンディング



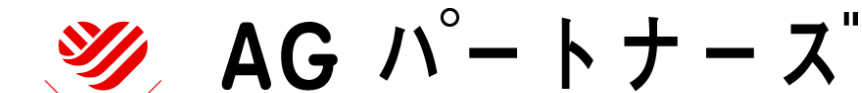
ベンチャーキャピタル



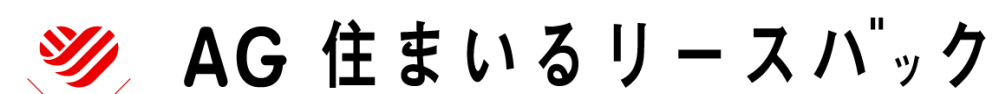
サービサー



企業再生



リースバック



倉庫業



家賃保証



海外



－ 本資料に関する注意事項 －

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。